ThinkVantage

Power Manager
デプロイメント・ガイド

更新: 2012 年 11 月

注：本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、57 ページの 付録 B『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

第 7 版 (2012 年 11 月)

© Copyright Lenovo 2008, 2012.

制限付き権利に関する通知: データまたはソフトウェアが米国一般調達局 (GSA: General Services Administration) 契約に準じて提供される場合、使用、複製、または開示は契約番号 GS-35F-05925 に規定された制限に従うものとします。

目次

© Copyright Lenovo 2008, 2012

序文

本ガイドは、IT 管理者または、組織内のコンピューターに Power Manager プログラム (以降、Power Manager と呼びます) をデプロイする役割を持った人を対象にしています。本ガイドの目的は、1 台以上のコンピューターに Power Manager をインストールする際に必要となる情報、および Active Directory® の管理に関連する一般的な管理タスクに関する情報を提供することです。組織全体にわたってコンピューターに電源管理方針を実装および実施することで、大幅な省電力を実現できます。

ThinkVantage® テクノロジーは、IT の専門家が遭遇する固有の問題に対応するために開発されました。本デプロイメント・ガイドには、Power Manager を使用するための説明と解決策が記載されています。ご提案またはコメントは、Lenovo® 認定担当者にご連絡ください。総所有コスト (TCO) の低減に役立つ製品の詳細情報や、本ガイドの定期的な更新を確認するには、次の Web サイトにアクセスしてください。
http://www.lenovo.com/thinkvantage

© Copyright Lenovo 2008, 2012

第 1 章 概要

Power Manager を使用すると、スライダー・コントロールまたは電源プランによって電力設定を調整し、システム・パフォーマンスと省電力の最高のバランスを実現できます。

Power Manager にはさまざまな省電力機能が搭載されており、2 つの基本モード (ベーシックおよびアドバンス) を通じて提供されます。ベーシック・モードは、Power Manager を初めて起動するときのデフォルトとして設定されているモードです。省電力のレベルは、スライダーを使用するだけで (電源プランは使用せずに) 指定できます。アドバンス・モードでは、特定の省電力要件を満たすように、電源プランおよび Power Manager のすべての機能を構成することができます。Power Manager によってバッテリー情報が画面に表示されるため、バッテリーの状況をモニターできます。

コンピューターの電源管理を行うことで、電力とコストを節約できます。IT 管理者が組織全体にわたってコンピューターに電源管理方針を実施すれば、非常に大きな省エネルギーになります。Power Manager はデフォルトで、エネルギーを効率的に使用するためのさまざまな機能を備えています。また、Power Manager には電源管理の設定を調整するためのオプションが非常に多く用意されており、IT 管理者はこれを使用することで組織全体のエネルギー効率を最適化できます。

注：Power Manager には 2 つの異なるバージョンがあります。1 つは Microsoft® Windows® XP オペレーティング・システム用で、もう 1 つは Microsoft Windows Vista® および Microsoft Windows 7 オペレーティング・システム用です。Windows Vista および Windows 7 用のバージョンでは、『電源プラン』という用語が使用されます。Windows XP 用のバージョンでは、『電源設定』という用語が使用されます。本書では、それらを区別せず両方をカバーして『電源プラン』という用語を使用します。

機能

Power Manager には次のような機能があります。

- **コンピューターのパフォーマンスと省電力のバランス**

  Power Manager にはスライダーがあり、使用する電源レベルを素早く簡単に設定できます。スライダーを動かすことで、中央演算処理装置 (CPU) の速度とコンピューター・ディスプレイの輝度を制御できます。スライダーを左側の『**マックス・パフォーマンス**』の方向に移動させると、CPU 速度が向上し、コンピューター・ディスプレイの輝度は上がりますが、バッテリー電力の消費量が増加します。スライダーを右側の『**マックス・バッテリー・ライフ**』の方向に移動させると、CPU 速度とコンピューター・ディスプレイの輝度は制限されますが、バッテリー駆動時間は長くなります。

  スライダーを左端に移動させると、省電力設定は、事前定義された**『マックス・パフォーマンス』**電源プランになります。スライダーを右端に移動させると、省電力設定は、事前定義された**『マックス・バッテリー・ライフ』**電源プランになります。

- **電源プランの表示、作成、削除、および切り替え**

  電源プランとはハードウェアおよびシステムの設定の集合のことで、コンピューターの使用方法を管理することで電力を節約します。Power Manager の電源プランには、Windows® の電源プランよりも多くの省電力設定があります。『**電源プラン**』タブで、定義済みの電源プラン (『マックス・パフォーマンス』、『タイマー禁止 (プレゼンテーション)』、『ビデオの再生』、『マックス・バッテリー・ライフ』、『エネルギー・セーバー』(一部のシステムでは『ThinkPad® デフォルト』または『ENERGY STAR』と呼ばれる)、および『パワー源最適化』) の特定の設定を確認できます。これらの定義済みの電源プランは、 大半のユーザーの要件を満たすように設計されたものです。事前定義された電源プランがユーザーの要件に合わない場合には、『電源プランの作成 (Create Power Plan)』ウィザードを使用して、ユーザー独自のカスタム電源プランを作成します。タスクバー上の『**バッテリー・ゲージ**』アイコンをクリックし、スライダーを使用して、事前定義された電源プランにするか、または F3 + Fn キーを押して『**電源プランの選択**』メニューから電源プランを選択することにより、電源プランを簡単に切り替えることができます。

© Copyright Lenovo 2008, 2012

- **バッテリー情報を表示する**

  Power Manager では、残り時間、残り容量、充電および放電状況、サイクル・カウントなど、バッテリー情報および一般的なバッテリー状況を表示します。バッテリー・ヘルス・インジケーターは、バッテリー・ヘルス状態を次の 3 色で示します。すなわち、緑 (良好状態)、黄色 (正常状態)、および赤色 (不良状態) です。バッテリーにエラーが発生したときには、エラー・メッセージまたはバルーン・メッセージが通知領域に表示されます。

- **バッテリー寿命を最大化する**

  コンピューターを主に AC 電源アダプターに接続して使用し、バッテリー電源はそれほど使用しない場合は、充電のしきい値を変更してバッテリー寿命を延ばすことができます。これによって、充電が開始されるまでのバッテリー放電の割合が低くなり、充電のサイクル数を減らすことができます。バッテリー充電のしきい値は、**『バッテリー』**タブで変更できます。

  また、最大充電の値を 100% 未満に設定することもできます。フル充電よりも少なく充電してバッテリーを保管することが推奨されるため、このオプションは、それほど使用しないバッテリーの寿命を延長するのに役立ちます。

- **リモートで Power Manager を構成し、電源プランをデプロイする**

  Power Manager を使うことで、IT 管理者は Power Manager を構成し、Active Directory により電源プランをデプロイできます。IT 管理者は、クライアント・コンピューターのアクティブな電源プランの選択、ユーザーによる電源プランの切り替えの禁止、特定の電源プランの選択、または電源プランの作成を実行できます。例えば、IT 管理者が**『マックス・パフォーマンス』**電源プランを無効にすると、ユーザーはその電源プランを選択できなくなります。

  また、IT 管理者は、General Setting (一般設定) ポリシー、Power Plan (Scheme) Deployments (電源プラン (電源設定) デプロイメント) ポリシー、Global Power Settings (共通省電力設定) ポリシー、および Battery Maintenance (バッテリー保守) ポリシーを構成できます。

第 2 章　インストール

ここでは、Power Manager のインストール手順について説明します。

Net Framework への依存

Power Manager は、Microsoft .NET Framework 3.0 以降を必要とします。Power Manager をインストールする前に、.NET Framework をインストールする必要があります。.NET Framework の互換性のあるバージョンは、以下の Microsoft Web サイトからダウンロードできます。
http://msdn.microsoft.com/en-us/netframework/default.aspx

注：Windows 2000 オペレーティング・システムで Power Manager を使用するには、Power Manager バージョン 1.48 をインストールしてください。

インストールの考慮事項

Power Manager のさまざまな機能は、ハードウェア、BIOS、ドライバー、その他の ThinkVantage テクノロジー (TVT) に依存しています。クライアント・コンピューターでサポートされていない機能は、Power Manager 上で非表示になります。Power Manager のすべての機能を有効にするために、次のソフトウェアの最新バージョンをインストールすることを推奨します。

- BIOS 更新
- ThinkPad 省電力ドライバー
- Hotkey ドライバー
- Access Connections™

Power Manager のインストール

ユーザーの対話なしで Power Manager をインストールするには、次の処理を実行します。

1. Windows XP、Windows Vista、または Windows 7 オペレーティング・システムを起動し、管理者特権を持つユーザーでログインします。
2. Power Manager のソフトウェア・パッケージをハードディスク・ドライブに解凍します。次に例を示します。
   `C:¥Drivers¥Vista¥PWRMGRV`
3. オペレーティング・システムに応じて、以下のいずれかを実行します。
   - Windows XP オペレーティング・システム・ユーザーの場合**『スタート』 ➔ 『ファイル名を指定して実行』**の順にクリックし、『**名前**』ボックスに`cmd`と入力して、コマンド プロンプトウィンドウを開きます。
   - Windows Vista または Windows 7 オペレーティング・システム・ユーザーの場合『**スタート**』をクリックし、『**検索の開始**』ボックスに『`cmd`』と入力してから『**管理者として実行**』を選択し、コマンド・プロンプト・ウィンドウを開きます。
4. インストール・ログをデフォルト・パスに出力するように指定して Power Manager を自動インストールするには、次のコマンド・ラインを使用します。
   `<path>¥setup.exe -S –SMS`

Power Manager を対話式にインストールするには、次のようにします。

1. Windows XP、Windows Vista、または Windows 7 オペレーティング・システムを起動し、管理者特権を持つユーザーでログインします。

© Copyright Lenovo 2008, 2012

2. Power Manager ソフトウェア・パッケージをダブルクリックします。『インストールの準備ができました (Ready to Install)』ウィンドウが開きます。
3. 『導入先選択 (Select Destination Location)』ウィンドウで、**『次へ』**をクリックします。別のフォルダーを選択したい場合は、**『参照』**をクリックします。
4. 『インストールの準備完了』ウィンドウで、**『インストール』**をクリックします。すべての必要なファイルがステップ 3 で選択されたフォルダーに取り出されます。
5. **『ThinkVantage Power Manager を今すぐインストールする (Install ThinkVantage Power Manager now)』**オプションを選択していることを確認し、**『終了』**をクリックします。
6. 画面に表示される指示に従って、インストールを完了しコンピューターを再起動します。

注：Power Manager には 2 つの異なるバージョンがあります。1 つは Windows XP オペレーティング・システム用で、もう 1 つは Windows Vista および Windows 7 オペレーティング・システム用です。ご使用のコンピューターに Power Manager をインストールするときは、 Power Manager のバージョンと、ご使用のオペレーティング・システムのバージョンを合わせてください。Windows Vista および Windows 7 用に設計された Power Manager は、Windows XP オペレーティング・システムでは正しく機能しない可能性があります。また、その逆も同様です。

第 3 章　Active Directory と ADM/ADMX ファイルの使用

Active Directory は、コンピューター、グループ、エンド・ユーザー、ドメイン、セキュリティー・ポリシー、あらゆる種類のユーザー定義オブジェクトを管理するメカニズムを管理者に提供します。このメカニズムのことを、グループ・ポリシーと管理用テンプレート (ADM または ADMX) ファイルといいます。IT 管理者は、グループ・ポリシーおよび ADM/ADMX ファイルを使用して、ドメイン内のコンピューターまたはユーザーに適用する設定を定義します。

Lenovo の Windows XP、Windows Vista、および Windows 7 クライアント・コンピューター用 Power Manager の ADM/ADMX ファイルには、次の 6 つのポリシー設定カテゴリーがあります。

- 一般設定
- 電源プラン (電源設定) デプロイメント
- 共通省電力設定
- バッテリー保守
- 電源スケジュール・デプロイメント
- EnergyWise 構成デプロイメント

管理用テンプレートの追加

Lenovo では、時間と労力を節約するように設計された管理用テンプレート・ファイル (Windows XP オペレーティング・システム用の『PWMGPO.ADM』と『PWMGPO.ADMX』、Windows Vista および Windows 7 オペレーティング・システム用の『PMVGPO.ADM』と『PMVGPO.ADMX』) を提供しています。このファイルをグループ・ポリシー・エディターとともに使用して、Power Manager のポリシーを設定します。これらの ADM ファイルまたは ADMX ファイルは、次の Lenovo サポート Web サイトからダウンロードできます。
http://www.lenovo.com/support/site.wss/document.do?lndocid=TVAN-ADMIN

Active Directory の環境に応じて、IT 管理者は ADM または ADMX ファイルを選択し、そのファイルをグループ・ポリシー・エディターに追加します。

Power Manager ADM ファイルをグループ・ポリシー・エディターに追加するには、次の処理を実行します。

1. Active Directory が稼働中のコンピューターで、**『スタート』** ➔ **『ファイル名を指定して実行』**の順にクリックし、`gpedit.msc`と入力します。『グループ ポリシー エディター』ウィンドウが開きます。
2. **『コンピュータの構成』**で、**『管理用テンプレート』**を右クリックします。
3. **『テンプレートの追加と削除』**をクリックすると、『テンプレートの追加と削除』ウィンドウが開きます。
4. Windows XP クライアント・コンピューターの場合は、**『追加』**をクリックし、PWMGPO.ADM ファイルを選択します。
5. Windows Vista および Windows 7 クライアント・コンピューターの場合は、**『追加』**をクリックし、PMVGPO.ADM ファイルを選択します。
6. **『閉じる』**をクリックして、『テンプレートの追加と削除』ウィンドウを閉じます。
7. 必ず、次の処理を実行して、ADM ファイルがグループ・ポリシー・エディターに追加されたことを確認してください。

   - Windows XP オペレーティング・システムの場合

© Copyright Lenovo 2008, 2012

a. **『コンピュータの構成』**で、**『管理用テンプレート』**を展開します。『**Lenovo ThinkVantage コンポーネント**』という新しい項目が表示されます。

b. 『**Lenovo ThinkVantage コンポーネント**』を展開します。『**Power Manager**』というサブ項目が表示されます。

c. 『**ユーザーの構成**』で、『**管理用テンプレート**』を展開します。『**Lenovo ThinkVantage コンポーネント**』という新しい項目が表示されます。

d. 『**Lenovo ThinkVantage コンポーネント**』を展開します。『**Power Manager**』というサブ項目が表示されます。

- Windows Vista および Windows 7 オペレーティング・システムの場合

a. **『コンピュータの構成』**で、**『管理用テンプレート』**を展開して**『従来の管理用テンプレート』**までナビゲートします。『**Lenovo ThinkVantage コンポーネント**』という新しい項目が表示されます。

b. 『**Lenovo ThinkVantage コンポーネント**』を展開します。『**Vista/7 用 Power Manager**』というサブ項目が表示されます。

c. 『**ユーザーの構成**』で、『**管理用テンプレート**』を展開して『**従来の管理用テンプレート**』までナビゲートします。『**Lenovo ThinkVantage コンポーネント**』という新しい項目が表示されます。

d. 『**Lenovo ThinkVantage コンポーネント**』を展開します。『**Vista/7 用 Power Manager**』というサブ項目が表示されます。

Power Manager ADMX ファイルをグループ・ポリシー・エディターに追加するには、次の処理を実行します。

1. ADMX をサポートする Active Directory を実行しているコンピューターで、admx_tp_xp.zip ファイルおよび admx_tp_vista_7.zip ファイルをローカル・フォルダーに展開します。
2. PWMGPO.admx ファイルと PMVGPO.admx ファイルを `C:¥Windows¥PolicyDefinitions` フォルダーにコピーします。
3. PWMGPO.adml ファイルと PMVGPO.adml ファイルを `C:¥Windows¥PolicyDefinitions¥en-US` フォルダーにコピーします。
4. **『スタート』** ➡ **『ファイル名を指定して実行』**の順にクリックし、『`gpedit.msc`』と入力します。『グループ ポリシー エディター』ウィンドウが開きます。『ローカル グループ ポリシー エディタ』ウィンドウには、`C:¥Windows¥PolicyDefinitions` ディレクトリーに保存されているすべての ADMX ファイルが自動的に読み込まれます。
5. 必ず、次の処理を実行して、ADMX ファイルがグループ・ポリシー・エディターに追加されたことを確認してください。

a. **『コンピュータの構成』**で、**『管理用テンプレート』**を展開します。『**Lenovo ThinkVantage コンポーネント**』という新しい項目が表示されます。

b. 『**Lenovo ThinkVantage コンポーネント**』を展開します。『**Power Manager**』および『**Vista/7 用 Power Manager**』というサブ項目が表示されます。

c. 『**ユーザーの構成**』で、『**管理用テンプレート**』を展開します。『**Lenovo ThinkVantage コンポーネント**』という新しい項目が表示されます。

d. 『**Lenovo ThinkVantage コンポーネント**』を展開します。『**Power Manager**』および『**Vista/7 用 Power Manager**』というサブ項目が表示されます。

注：

1. **『Power Manager』**構成項目にあるポリシー設定は、Windows XP クライアント・コンピューター用です。これらのポリシー設定は、Windows Vista および Windows 7 クライアント・コンピューターには影響しません。
2. 『**Vista/7 用 Power Manager**』構成項目にあるポリシー設定は、Windows Vista および Windows 7 クライアント・コンピューター用です。これらのポリシー設定は、Windows XP クライアント・コンピューターには影響しません。

一般設定

IT 管理者は、一般設定ポリシーを使用してアクティブ電源プランの選択などの一般的な設定を構成できます。

『General Setting』ポリシーを構成するには、次のようにします。

- Windows XP クライアント・コンピューターの場合 (ADM および ADMX ファイル)

  『**コンピュータの構成**』で、**『管理用テンプレート』** ➔ **『Lenovo ThinkVantage コンポーネント』** ➔ **『Power Manager』** ➔ **『一般設定』**の順にクリックします。

- Windows Vista または Windows 7 クライアント・コンピューターの場合 (ADM ファイル)

  『**コンピューターの構成**』で、**『管理用テンプレート』** ➔ **『従来の管理用テンプレート』** ➔ **『Lenovo ThinkVantage コンポーネント』** ➔ **『Vista/7 用 Power Manager』** ➔ **『一般設定』**の順にクリックします。

- Windows Vista または Windows 7 クライアント・コンピューターの場合 (ADMX ファイル)

  『**コンピューターの構成**』で、**『管理用テンプレート』** ➔ **『Lenovo ThinkVantage コンポーネント』** ➔ **『Vista/7 用 Power Manager』** ➔ **『一般設定』**の順にクリックします。

次の表に、各ポリシー設定に関する詳細情報を示します。

表 1. 一般設定

ポリシー設定	**説明**
Do not allow client to switch power plan (クライアントによる電源プランの切り替えを許可しない)	クライアント・コンピューターでの電源プランの切り替えを許可するかどうかを指定します。 このポリシー設定が有効になっている状態でユーザーが電源プランを変更すると、Power Manager によって現行の電源プランがオリジナルの電源プランに自動的に戻されます。 **注：** 1. このポリシーは、ユーザーによるアクティブ電源プランの省電力設定の変更を禁止しません。このポリシーが有効になっていると、 ユーザーは Windows Vista または Windows 7 オペレーティング・システム上でベーシック・モードでスライダーを動かして、アクティブ電源プランの省電力設定を変更できます。 ただし、オリジナルの電源プランが**『マックス・パフォーマンス』**または**『マックス・バッテリー・ライフ』**に設定されている場合、ユーザーはスライダーを使用して電源プランの省電力設定を変更することはできません。 2. オリジナルの電源プランが Power Manager 所有のものではない場合、ユーザーは他の電源プランに切り替えることができます。 このポリシーが有効になっている場合、ユーザーはアクティブ電源プランを変更することができます。また、基本モードでスライダー・コントロールを移動することもできます。
Do not allow client to create new power plan (クライアントによる新しい電源プランの作成を許可しない)	クライアント・コンピューターの Power Manager での新しい電源プランの作成を許可するかどうかを指定します。

表 1. 一般設定 (続き)

ポリシー設定	説明
	このポリシー設定を有効にすると、Power Manager のメイン・ユーザー・インターフェースに表示されている電源プラン作成用の **『新規』** ボタンが使用不可になります。ただし、Power Manager 以外で電源プランを作成することはできます。例えば、『コントロール パネル』の『電源オプション』ツールを使用して電源プランを作成できます。
Do not allow client to select specific power plan (クライアントによる特定の電源プランの選択を許可しない)	Power Manager が所有する特定の電源プランのクライアント・コンピューターでの選択を許可するかどうかを指定します。 このポリシー設定を有効にすると、電源プラン名を入力する必要があります。無効な名前の電源プランを選択すると、現行の電源プランが別の定義済み電源プランに切り替えられます。 **注：** 1. Power Manager は、次の順番で使用可能な電源プランを検索します。 　a. Power Manager は『**エネルギー・セーバー**』の電源プランを検索します。これは、一部のシステムでは『**ThinkPad デフォルト**』または『**ENERGY STAR**』と呼ばれます。 　b. 上記の検索に失敗するか、電源プランが無効な場合、Power Manager は『**パワー源最適化**』電源プランを検索します。 　c. 上記の検索に失敗するか、電源プランが無効な場合、Power Manager は『**マックス・バッテリー・ライフ**』電源プランを検索します。 2. 指定できるのは Power Manager に表示されている電源プランのみで、Windows のデフォルトの電源プランは指定できません。
Select an Active Power Plan (アクティブ電源プランを選択する)	Power Manager が所有する電源プランの名前を指定し、それをクライアント・コンピューターでアクティブにします。 **注：** 1. 指定した電源プラン名がクライアント・コンピューター内に存在する必要があります。 2. このポリシー設定を有効にすると、電源プラン名を入力する必要があります。 Power Manager は起動中に、このポリシーで指定されている電源プランを適用します。このポリシーでアクティブ電源プランを指定しても、Power Manager の起動後にアクティブ電源プランを変更できます。

表 1. 一般設定 (続き)

ポリシー設定	説明
Hide Internet Access (インターネット・アクセスを非表示にする)	インターネット・アクセスを非表示にするかどうかを指定します。 このポリシー設定を有効にすると、Power Manager のすべての Web リンクが非表示になります。また、Windows の電源オプションの『バッテリーの購入リンク (Buy a battery link)』は、すべてのプルダウン・メニューで**『削除』**を選択することで削除されます。 **注**：このポリシーで『バッテリーの購入リンク (Buy a battery link)』を削除すると、このポリシーを無効にしてもこのリンクは表示されません。
Power Logging (電源ロギング)	AC/DC ワット数のログ出力設定を指定します。 このポリシー設定を有効にする場合、ログ出力間隔 (分) とログ・クリアランス間隔 (日) の値 (数字) を設定する必要があります。 ログ出力ファイル名は PWMLDLOG.INI です。ログ出力ファイルは、Power Manager のインストール・フォルダー下に作成されます。

電源プラン (電源設定) デプロイメント

IT 管理者は、『**Power Plan Deployments**』構成項目のポリシー設定を使用して、カスタム電源プランを作成し、それらの電源プランをデプロイできます。IT 管理者は、この構成項目ですべてのポリシーを構成する必要があります。**『Power Plan Deployments』**構成項目のポリシー設定を使用してクライアント・コンピューター内の既存の電源プランを編集することはできません。電源プランをデプロイすると、IT 管理者はサーバー・サイドから電源プランを編集できなくなります。新しい電源プランをデプロイするには、IT 管理者は別の電源プラン名で電源プランを構成する必要があります。

『Power Plan (Scheme) Deployments』ポリシーを構成するには、次のようにします。

- Windows XP クライアント・コンピューターの場合 (ADM および ADMX ファイル)

  『**コンピュータの構成**』で、**『管理用テンプレート』** ➔ **『Lenovo ThinkVantage コンポーネント』** ➔ **『Power Manager』** ➔ **『電源プラン (電源設定) デプロイメント』**の順にクリックします。

- Windows Vista または Windows 7 クライアント・コンピューターの場合 (ADM ファイル)

  『**コンピュータの構成**』で、**『管理用テンプレート』** ➔ **『従来の管理用テンプレート』** ➔ **『Lenovo ThinkVantage コンポーネント』** ➔ **『Vista/7 用 Power Manager』** ➔ **『電源プラン (電源設定) デプロイメント』**の順にクリックします。

- Windows Vista または Windows 7 クライアント・コンピューターの場合 (ADMX ファイル)

  『**コンピュータの構成**』で、**『管理用テンプレート』** ➔ **『Lenovo ThinkVantage コンポーネント』** ➔ **『Vista/7 用 Power Manager』** ➔ **『電源プラン (電源設定) デプロイメント』**の順にクリックします。

次の表に、各ポリシー設定に関する詳細情報を示します。この表で、(AC) は AC 電源アダプターを接続したクライアント・コンピューター用のポリシー設定を、(DC) はバッテリー電源を使用するクライアント・コンピューター用のポリシー設定を表します。

表 2. 電源プラン (電源設定) デプロイメント

ポリシー設定	説明
Plan Name (プラン名)	クライアント・コンピューターにデプロイする電源プランの名前を指定します。 このポリシー設定を有効にすると、電源プラン名を入力する必要があります。電源プラン名の長さは、1 バイト文字の場合、最大 32 文字です。2 バイト文字の場合は、最大 16 文字です。 **注**：電源プランをデプロイすると、サーバー・サイドから電源プランを編集できなくなります。電源プラン名を変更する場合は、電源プランを新しい電源プランとしてクライアント・コンピューターにデプロイします。
Maximum CPU Speed (AC) (最大 CPU 速度 (AC))	CPU の最大速度を指定します。 指定できる最大速度は次のとおりです。 • Highest (最高) • Adaptive (最適) • Low (低) • Lowest (最低)
Maximum CPU Speed (DC) (最大 CPU 速度 (DC))	CPU の最大速度を指定します。 指定できる最大速度は次のとおりです。 • Highest (最高) • Adaptive (最適) • Low (低) • Lowest (最低)
System Performance (AC) (システム・パフォーマンス (AC))	システム・パフォーマンス・タイプを指定します。 システム・パフォーマンス・タイプの可能な値は、次のとおりです。 • Maximum turbo (最大ターボ) • Turbo (ターボ) • Balance (バランス) • Low (低) **注**：システム・パフォーマンスは、『Maximum CPU speed (最大 CPU 速度)』設定、『Intel Graphics Power Plan (Intel グラフィックス電源プラン)』設定、およびターボの状態に影響します。ユーザーがシステム・パフォーマンス・タイプを定義すると、『Maximum CPU speed (最大 CPU 速度)』設定と『Intel Graphics Power Plan (Intel グラフィックス電源プラン)』設定は上書きされます。

表 2. 電源プラン (電源設定) デプロイメント (続き)

ポリシー設定	説明
System Performance (DC) (システム・パフォーマンス (DC))	システム・パフォーマンス・タイプを指定します。 システム・パフォーマンス・タイプの可能な値は、次のとおりです。 • Maximum turbo (最大ターボ) • Turbo (ターボ) • Balance (バランス) • Low (低) **注**：システム・パフォーマンスは、『Maximum CPU speed (最大 CPU 速度)』設定、『Intel Graphics Power Plan (Intel グラフィックス電源プラン)』設定、およびターボの状態に影響します。ユーザーがシステム・パフォーマンス・タイプを定義すると、『Maximum CPU speed (最大 CPU 速度)』設定と『Intel Graphics Power Plan (Intel グラフィックス電源プラン)』設定は上書きされます。
CPU Deeper Sleep (AC) (CPU ディーパー・スリープ (AC))	CPU がディーパー・スリープ状態に入れるようにするかどうかを指定します。このポリシー設定を有効にすると、CPU はディーパー・スリープ状態に入ります。
CPU Deeper Sleep (DC) (CPU ディーパー・スリープ (DC))	CPU がディーパー・スリープ状態に入れるようにするかどうかを指定します。このポリシー設定を有効にすると、CPU はディーパー・スリープ状態に入ります。
Optimize fan control to (AC) (ファン制御の最適化 (AC))	ファン制御モードを指定します。 次のファン制御モードがあります。 • Maximize performance (パフォーマンスの最大化) • Balance all parameters (すべてのパラメーターのバランス) • Reduce noise dynamically (ノイズの動的削減) **注**：**『Reduce noise dynamically』**オプションは、**『Maximum CPU speed (AC)』**オプションが『Low』または『Lowest』に設定されている場合には、有効になりません。
Optimize fan control to (DC) (ファン制御の最適化 (DC))	ファン制御モードを指定します。 次のファン制御モードがあります。 • Maximize performance (パフォーマンスの最大化) • Balance all parameters (すべてのパラメーターのバランス) • Reduce noise dynamically (ノイズの動的削減) **注**：**『Reduce noise dynamically』**オプションは、**『Maximum CPU speed (AC)』**オプションが『Low』または『Lowest』に設定されている場合には、有効になりません。
Display Brightness 16 (AC) (ディスプレイ輝度 16 (AC))	クライアント・コンピューターのディスプレイの輝度レベルを 16 個のレベルで指定します。輝度レベルを上げると、ディスプレイが明るくなります。

表 2. 電源プラン (電源設定) デプロイメント (続き)

ポリシー設定	説明
Display Brightness 16 (DC) (ディスプレイ輝度 16 (DC))	クライアント・コンピューターのディスプレイの輝度レベルを 16 個のレベルで指定します。輝度レベルを上げると、ディスプレイが明るくなります。
Display Brightness 8 (AC) (ディスプレイ輝度 8 (AC))	クライアント・コンピューターのディスプレイの輝度レベルを 8 個のレベルで指定します。
Display Brightness 8 (DC) (ディスプレイ輝度 8 (DC))	クライアント・コンピューターのディスプレイの輝度レベルを 8 個のレベルで指定します。
Switchable Graphics (AC) (スイッチャブル・グラフィックス (AC))	NVIDIA スイッチャブル・グラフィックスのグラフィック・モードを指定します。 指定できるグラフィック・モードは次のとおりです。 • Energy Saving (省エネルギー) • High performance (ハイパフォーマンス) **注**： 1. このポリシー設定を有効にするには、グラフィック・モードを選択しなければなりません。 2. この設定は Windows XP クライアント・コンピューターではサポートされていません。
Switchable Graphics (DC) (スイッチャブル・グラフィックス (DC))	NVIDIA スイッチャブル・グラフィックスのグラフィック・モードを指定します。 指定できるグラフィック・モードは次のとおりです。 • Energy Saving (省エネルギー) • High performance (ハイパフォーマンス) **注**： 1. このポリシー設定を有効にするには、グラフィック・モードを選択しなければなりません。 2. この設定は Windows XP クライアント・コンピューターではサポートされていません。
Intel Graphics Power Plan (AC) (Intel グラフィックス電源プラン (AC))	Intel グラフィックス・サブシステムの電源プランを指定します。 指定できる電源プランは次のとおりです。 • Maximum Battery Life (マックス・バッテリー・ライフ) • Balanced (平衡型) • Maximum Performance (マックス・パフォーマンス) **注**：このポリシー設定を有効にするには、電源プランを選択しなければなりません。

表 2. 電源プラン (電源設定) デプロイメント (続き)

ポリシー設定	説明
Intel Graphics Power Plan (DC) (Intel グラフィックス電源プラン (DC))	Intel グラフィックス・サブシステムの電源プランを指定します。 指定できる電源プランは次のとおりです。 • Maximum Battery Life (マックス・バッテリー・ライフ) • Balanced (平衡型) • Maximum Performance (マックス・パフォーマンス) **注**：このポリシー設定を有効にするには、電源プランを選択しなければなりません。
Automatic optical drive power off (AC) (光学式ドライブ自動電源オフ (AC))	次の条件が満たされたときに、光学式ドライブの電源を自動でオフにするかどうかを指定します。 • システム始動後 10 分以内に CD または DVD が挿入されない。 • CD または DVD を取り外してから 10 分以内に再挿入されない。
Automatic optical drive power off (DC) (光学式ドライブ自動電源オフ (DC))	次の条件が満たされたときに、光学式ドライブの電源を自動でオフにするかどうかを指定します。 • システム始動後 10 分以内に CD または DVD が挿入されない。 • CD または DVD を取り外してから 10 分以内に再挿入されない。
Airplane in-seat power plan (AC) (飛行機電源プラン (AC))	飛行機電源プラン機能を有効にするかどうかを指定します。 構成オプションは次のとおりです。 • Not configured (構成しない) • Enabled (有効) • Disabled (無効) このポリシー設定を有効にすると、コンピューターはバッテリー充電率とシステム・パフォーマンスを制限して電力消費量を抑えます。この機能により、機内で電源機構を保護します。飛行機電源プランは、AC 電源アダプターが接続されているかどうかにかかわらず機能します。 このポリシー設定を有効にすると、タスクバーのバッテリー・ゲージ・アイコンの横に飛行機のアイコンが表示されます。Battery Stretch のアイコン、バッテリー・ゲージ・リセットのアイコン、ピーク電力スケジューラーのアイコンなど、別のシステム電源状況を示すアイコンが表示されている場合、飛行機のアイコンは表示されません。

表 2. 電源プラン (電源設定) デプロイメント (続き)

ポリシー設定	説明
Airplane in-seat power plan (DC) (飛行機電源プラン (DC))	飛行機電源プラン機能を有効にするかどうかを指定します。 構成オプションは次のとおりです。 • Not configured (構成しない) • Enabled (有効) • Disabled (無効) このポリシー設定を有効にすると、コンピューターはバッテリー充電率とシステム・パフォーマンスを制限して電力消費量を抑えます。この機能により、機内で電源機構を保護します。飛行機電源プランは、AC 電源アダプターが接続されているかどうかにかかわらず機能します。 このポリシー設定を有効にすると、タスクバーのバッテリー・ゲージ・アイコンの横に飛行機のアイコンが表示されます。Battery Stretch のアイコン、バッテリー・ゲージ・リセットのアイコン、ピーク電力スケジューラーのアイコンなど、別のシステム電源状況を示すアイコンが表示されている場合、飛行機のアイコンは表示されません。
Lower display brightness 16 (DC) (ディスプレイ輝度の低下 16 (DC))	時間と輝度レベルを指定します。非アクティブ状態がその時間より長く続いた場合にディスプレイの輝度を暗くします。指定した時間の後に**『Lower display brightness 16』**設定が有効になり、そのとき、ここで指定された輝度レベルになります。輝度レベルは、『**Display Brightness 16 (ディスプレイ輝度 16)**』設定で指定した輝度レベルよりも低くする必要があります。この設定はクライアント・コンピューター用で、16 個の輝度レベルで指定します。 設定可能な時間は次のとおりです。 • 1 分 (Windows XP のみ) • 2 分 (Windows XP のみ) • 3 分 (Windows XP のみ) • 5 分 (Windows XP のみ) • 10 分 (Windows XP のみ) • 15 分 • 20 分 • 25 分 • 30 分 • 45 分 • なし **注**：この設定は、AC モードおよび Windows 7 クライアント・コンピューターではサポートされていません。

表 2. 電源プラン (電源設定) デプロイメント (続き)

ポリシー設定	説明
Lower display brightness 8 (DC) (ディスプレイ輝度の低下 8 (DC))	時間を指定します。非アクティブ状態がその時間より長く続いた場合にディスプレイの輝度を暗くします。指定した時間の後に『**Lower display brightness 8 (ディスプレイ輝度の低下 8)**』設定が有効になり、そのとき、ここで指定された輝度レベルになります。輝度レベルは、『**Display Brightness 8 (ディスプレイ輝度 8)**』設定で指定した輝度レベルよりも低くする必要があります。この設定はクライアント・コンピューター用で、8 個の輝度レベルで指定します。 設定可能な時間は次のとおりです。 • 1 分 (Windows XP のみ) • 2 分 (Windows XP のみ) • 3 分 (Windows XP のみ) • 5 分 (Windows XP のみ) • 10 分 (Windows XP のみ) • 15 分 • 20 分 • 25 分 • 30 分 • 45 分 • なし **注**：この設定は、AC モードおよび Windows 7 クライアント・コンピューターではサポートされていません。
Dim display (AC) (画面の暗転 (AC))	時間と輝度レベルを指定します。非アクティブ状態がその時間より長く続いた場合に、Windows は自動的にディスプレイの輝度を暗転します。指定した時間の後に『**Dim display**』設定が有効になり、そのとき、ここで指定した輝度レベルになります。非アクティブの時間は、秒単位で指定できます。 **注**：この設定は Windows 7 クライアント・コンピューターでのみサポートされます。
Dim display (DC) (画面の暗転 (DC))	時間と輝度レベルを指定します。非アクティブ状態がその時間より長く続いた場合に、Windows は自動的にディスプレイの輝度を暗転します。指定した時間の後に『**Dim display**』設定が有効になり、そのとき、ここで指定した輝度レベルになります。非アクティブの時間は、秒単位で指定できます。 **注**：この設定は Windows 7 クライアント・コンピューターでのみサポートされます。

表 2. 電源プラン (電源設定) デプロイメント (続き)

ポリシー設定	説明
Minimize display refresh rate (DC) (ディスプレイ・リフレッシュ・レートの最小化 (DC))	時間を指定して、非アクティブ状態がその時間より長く続いた場合に、ディスプレイ・リフレッシュ・レートを最小化するようにします。 設定可能な時間は次のとおりです。 • 1 分 (Windows XP のみ) • 2 分 (Windows XP のみ) • 3 分 (Windows XP のみ) • 5 分 (Windows XP のみ) • 10 分 (Windows XP のみ) • 15 分 • 20 分 • 25 分 • 30 分 • 45 分 • なし **注**：この設定は AC モードではサポートされていません。
Switch to Energy Saving Graphics (AC) (省電力グラフィックスへの切り替え (AC))	時間を指定して、非アクティブ状態がその時間より長く続いた場合に、省電力グラフィックに切り替えるようにします。 設定可能な時間は次のとおりです。 • 2 分 • 5 分 • 10 分 • 15 分 • 30 分 • 45 分 • 1 時間 • 2 時間 • 3 時間 • なし **注**： 1. このポリシー設定を有効にするには、時間を選択しなければなりません。 2. この設定は Windows XP クライアント・コンピューターではサポートされていません。

表 2. 電源プラン (電源設定) デプロイメント (続き)

ポリシー設定	説明
Switch to Energy Saving Graphics (DC) (省電力グラフィックスへの切り替え (DC))	時間を指定して、非アクティブ状態がその時間より長く続いた場合に、省電力グラフィックに切り替えるようにします。 設定可能な時間は次のとおりです。 • 2 分 • 5 分 • 10 分 • 15 分 • 30 分 • 45 分 • 1 時間 • 2 時間 • 3 時間 • なし **注：** 1. このポリシー設定を有効にするには、時間を選択しなければなりません。 2. この設定は Windows XP クライアント・コンピューターではサポートされていません。
Monitor off Timer (AC) (モニター・オフ・タイマー (AC))	時間を指定して、非アクティブ状態がその時間より長く続いた場合に、Windows オペレーティング・システムがディスプレイの電源を切るようにします。 Windows XP クライアント・コンピューターの場合、設定可能な時間は次のとおりです。 • 1 分 • 2 分 • 3 分 • 5 分 • 10 分 • 15 分 • 20 分 • 25 分 • 30 分 • 45 分 • 1 時間 • 2 時間 • 3 時間 • 4 時間 • 5 時間 • なし Windows Vista および Windows 7 クライアント・コンピューターの場合、値は秒単位で指定します。

表 2. 電源プラン (電源設定) デプロイメント (続き)

ポリシー設定	説明
	値を 0 秒として指定すると、『Monitor off Timer (モニター・オフ・タイマー)』は『Never (なし)』に設定されます。
Monitor off Timer (DC) (モニター・オフ・タイマー (DC))	時間を指定して、非アクティブ状態がその時間より長く続いた場合に、Windows オペレーティング・システムがディスプレイの電源を切るようにします。 Windows XP クライアント・コンピューターの場合、設定可能な時間は次のとおりです。 • 1 分 • 2 分 • 3 分 • 5 分 • 10 分 • 15 分 • 20 分 • 25 分 • 30 分 • 45 分 • 1 時間 • 2 時間 • 3 時間 • 4 時間 • 5 時間 • なし Windows Vista および Windows 7 クライアント・コンピューターの場合、値は秒単位で指定します。 値を 0 秒として指定すると、『Monitor off Timer (モニター・オフ・タイマー)』は『Never (なし)』に設定されます。
HDD off Timer (AC) (HDD オフ・タイマー (AC))	時間を指定して、非アクティブ状態がその時間より長く続いた場合に、Windows オペレーティング・システムがハードディスク・ドライブの電源を切るようにします。 Windows XP クライアント・コンピューターの場合、設定可能な時間は次のとおりです。 • 3 分 • 5 分 • 10 分 • 15 分 • 20 分 • 25 分 • 30 分 • 45 分

表 2. 電源プラン (電源設定) デプロイメント (続き)

ポリシー設定	説明
	• 1 時間 • 2 時間 • 3 時間 • 4 時間 • 5 時間 • なし Windows Vista および Windows 7 クライアント・コンピューターの場合、値は秒単位で指定します。 値を 0 秒として指定すると、『HDD off Timer (HDD オフ・タイマー)』は『Never (なし)』に設定されます。
HDD off Timer (DC) (HDD オフ・タイマー (DC))	時間を指定して、非アクティブ状態がその時間より長く続いた場合に、Windows オペレーティング・システムがハードディスク・ドライブの電源を切るようにします。Windows XP クライアント・コンピューターの場合、設定可能な時間は次のとおりです。 • 3 分 • 5 分 • 10 分 • 15 分 • 20 分 • 25 分 • 30 分 • 45 分 • 1 時間 • 2 時間 • 3 時間 • 4 時間 • 5 時間 • なし Windows Vista および Windows 7 クライアント・コンピューターの場合、値は秒単位で指定します。 値を 0 秒として指定すると、『HDD off Timer (HDD オフ・タイマー)』は『Never (なし)』に設定されます。

表 2. 電源プラン (電源設定) デプロイメント (続き)

ポリシー設定	説明
Standby Timer (AC) (スタンバイ・タイマー (AC))	時間を指定して、非アクティブ状態がその時間より長く続いた場合に、Windows がスリープ・モードに入るようにします。 Windows XP クライアント・コンピューターの場合、設定可能な時間は次のとおりです。 • 1 分 • 2 分 • 3 分 • 5 分 • 10 分 • 15 分 • 20 分 • 25 分 • 30 分 • 45 分 • 1 時間 • 2 時間 • 3 時間 • 4 時間 • 5 時間 • なし Windows Vista および Windows 7 クライアント・コンピューターの場合、値は秒単位で指定します。 値を 0 秒として指定すると、『Standby Timer (スタンバイ・タイマー)』は『Never (なし)』に設定されます。
Standby Timer (DC) (スタンバイ・タイマー (DC))	時間を指定して、非アクティブ状態がその時間より長く続いた場合に、Windows がスリープ・モードに入るようにします。 Windows XP クライアント・コンピューターの場合、設定可能な時間は次のとおりです。 • 1 分 • 2 分 • 3 分 • 5 分 • 10 分 • 15 分 • 20 分 • 25 分 • 30 分 • 45 分 • 1 時間 • 2 時間

表 2. 電源プラン (電源設定) デプロイメント (続き)

ポリシー設定	説明
	• 3 時間 • 4 時間 • 5 時間 • なし Windows Vista および Windows 7 クライアント・コンピューターの場合、値は秒単位で指定します。 値を 0 秒として指定すると、『Standby Timer (スタンバイ・タイマー)』は『Never (なし)』に設定されます。
Hibernation Timer (AC) (休止状態タイマー (AC))	時間を指定して、非アクティブ状態がその時間より長く続いた場合に、Windows オペレーティング・システムが休止状態モードになるようにします。 設定可能な時間は次のとおりです。 • 1 分 • 2 分 • 3 分 • 5 分 • 10 分 • 15 分 • 20 分 • 25 分 • 30 分 • 45 分 • 1 時間 • 2 時間 • 3 時間 • 4 時間 • 5 時間 • 6 時間 • なし **注**：この時間は、Windows XP クライアント・コンピューターの **『Standby Timer』** 設定で指定した非アクティブ時間より長くする必要があります。 Windows Vista および Windows 7 クライアント・コンピューターの場合、値は秒単位で指定します。 値を 0 秒として指定すると、『Hibernation Timer (休止状態タイマー)』は『Never (なし)』に設定されます。

表 2. 電源プラン (電源設定) デプロイメント (続き)

ポリシー設定	説明
Hibernation Timer (DC) (休止状態タイマー (DC))	時間を指定して、非アクティブ状態がその時間より長く続いた場合に、Windows オペレーティング・システムが休止状態モードになるようにします。 設定可能な時間は次のとおりです。 • 1 分 • 2 分 • 3 分 • 5 分 • 10 分 • 15 分 • 20 分 • 25 分 • 30 分 • 45 分 • 1 時間 • 2 時間 • 3 時間 • 4 時間 • 5 時間 • 6 時間 • なし **注**：この時間は、Windows XP クライアント・コンピューターの『**Standby Timer**』設定で指定した非アクティブ時間より長くする必要があります。 Windows Vista および Windows 7 クライアント・コンピューターの場合、値は秒単位で指定します。 値を 0 秒として指定すると、『Hibernation Timer (休止状態タイマー)』は『Never (なし)』に設定されます。
Allow Hybrid Sleep (AC) (ハイブリッド・スリープの許可 (AC))	ハイブリッド・スリープを有効にします。 このポリシー設定を有効にし、**『On』**を選択すると、システムがスリープ (スタンバイ) モードになったときに RAM (ランダム・アクセス・メモリー) の内容を保管するための `hiberfil.sys` というファイルが生成されます。 この設定は Windows XP クライアント・コンピューターではサポートされていません。

表 2. 電源プラン (電源設定) デプロイメント (続き)

ポリシー設定	説明
Allow Hybrid Sleep (DC) (ハイブリッド・スリープの許可 (DC))	ハイブリッド・スリープを有効にします。 このポリシー設定を有効にし、**『On』**を選択すると、システムがスリープ (スタンバイ) モードになったときに RAM の内容を保管する `hiberfil.sys` というファイルが生成されます。 この設定は Windows XP クライアント・コンピューターではサポートされていません。
Allow Wake Timers (AC) (ウェイク・タイマーの許可 (AC))	Windows オペレーティング・システムがスケジュールされたタスクおよびその他のプログラム用のタイマーに従い、自動的にコンピューターをスリープ・モードからウェイクアップできるかどうかを指定します。 このポリシー設定を有効にすると、例えば、システムが自動的にウェイクアップして更新をインストールするようにできます。 この設定は Windows 7 クライアント・コンピューターでのみサポートされます。
Allow Wake Timers (DC) (ウェイク・タイマーの許可 (DC))	Windows オペレーティング・システムがスケジュールされたタスクおよびその他のプログラム用のタイマーに従い、自動的にコンピューターをスリープ・モードからウェイクアップできるかどうかを指定します。 このポリシー設定を有効にすると、例えば、システムが自動的にウェイクアップして更新をインストールするようにできます。 この設定は Windows 7 クライアント・コンピューターではサポートされていません。
Wireless Power Saving Mode (AC) (無線省電力モード (AC))	無線アダプターのパフォーマンスを指定します。 次のパフォーマンスを指定できます。 • Maximum Performance (マックス・パフォーマンス) • Low Power Saving (低省電力) • Medium Power Saving (中省電力) • Maximum Power Saving (最大省電力) この設定は Windows XP クライアント・コンピューターではサポートされていません。
Wireless Power Saving Mode (DC) (無線省電力モード (DC))	無線アダプターのパフォーマンスを指定します。 次のパフォーマンスを指定できます。 • Maximum Performance (マックス・パフォーマンス) • Low Power Saving (低省電力) • Medium Power Saving (中省電力) • Maximum Power Saving (最大省電力) この設定は Windows XP クライアント・コンピューターではサポートされていません。

表 2. 電源プラン (電源設定) デプロイメント (続き)

ポリシー設定	説明
PCI Link State Power Management (AC) (PCI リンク状態省電力 (AC))	PCI リンクがアイドルのときのアクティブ状態を指定します。 次の状態を指定できます。 • Off (オフ) • Moderate power savings (適度の省電力) • Maximum power savings (最大の省電力) この設定は Windows XP クライアント・コンピューターではサポートされていません。
PCI Link State Power Management (DC) (PCI リンク状態省電力 (DC))	PCI リンクがアイドルのときのアクティブ状態を指定します。 次の状態を指定できます。 • Off (オフ) • Moderate power savings (適度の省電力) • Maximum power savings (最大の省電力) この設定は Windows XP クライアント・コンピューターではサポートされていません。
Multimedia settings when sharing media (AC) (メディア共有時のマルチメディア設定 (AC))	メディア・ファイルを再生するときに Windows オペレーティング・システムが許可する処置を指定します。 次の処置を指定できます。 • Allow the computer to sleep (コンピューターのスリープを許可) • Prevent idling to sleep (アイドリングのスリープを禁止) • Allow the computer to enter away mode (コンピューターのアウェイ・モードを許可) この設定は Windows XP クライアント・コンピューターではサポートされていません。
Multimedia settings when sharing media (DC) (メディア共有時のマルチメディア設定 (DC))	メディア・ファイルを再生するときに Windows オペレーティング・システムが許可する処置を指定します。 次の処置を指定できます。 • Allow the computer to sleep (コンピューターのスリープを許可) • Prevent idling to sleep (アイドリングのスリープを禁止) • Allow the computer to enter away mode (コンピューターのアウェイ・モードを許可) この設定は Windows XP クライアント・コンピューターではサポートされていません。

表 2. 電源プラン (電源設定) デプロイメント (続き)

ポリシー設定	説明
Multimedia settings when playing video (AC) (ビデオ再生時のマルチメディア設定 (AC))	ビデオ・コンテンツの再生時に Windows Media® Player が省電力とパフォーマンスのいずれを優先させるかを指定します。 次の値を指定できます。 • Optimize video quality (ビデオ品質の最適化) • Balanced (平衡型) • Optimize power savings (省電力の最適化) この設定は Windows 7 クライアント・コンピューターでのみサポートされます。
Multimedia settings when playing video (DC) (ビデオ再生時のマルチメディア設定 (DC))	ビデオ・コンテンツの再生時に Windows Media Player が省電力とパフォーマンスのいずれを優先させるかを指定します。 次の値を指定できます。 • Optimize video quality (ビデオ品質の最適化) • Balanced (平衡型) • Optimize power savings (省電力の最適化) この設定は Windows 7 クライアント・コンピューターでのみサポートされます。
Adaptive Display (AC) (適応ディスプレイ (AC))	コンピューターの非アクティブ状態が指定の時間より長く続いた場合にコンピューター・ディスプレイの電源をオフにする設定を、 Windows オペレーティング・システムがどのように制御するかを管理します。 このポリシーが有効になっている状態で、プルダウン・メニューで**『On』**を選択すると、コンピューター・ディスプレイをオンにするためにユーザーがキーボードやマウスを使って行う動作に応じて Windows オペレーティング・システムが設定を自動で調整します。 この設定は Windows Vista クライアント・コンピューターでのみサポートされます。
Adaptive Display (DC) (適応ディスプレイ (DC))	コンピューターの非アクティブ状態が指定の時間より長く続いた場合にコンピューター・ディスプレイの電源をオフにする設定を、 Windows オペレーティング・システムがどのように制御するかを管理します。 このポリシーが有効になっている状態で、プルダウン・メニューで**『On』**を選択すると、コンピューター・ディスプレイをオンにするためにユーザーがキーボードやマウスを使って行う動作に応じて Windows オペレーティング・システムが設定を自動で調整します。 この設定は Windows Vista クライアント・コンピューターでのみサポートされます。

表 2. 電源プラン (電源設定) デプロイメント (続き)

ポリシー設定	説明
Search and indexing (AC) (検索と索引付け (AC))	検索の速度と索引付けのパフォーマンスを指定します。 次の値を指定できます。 • Power Saver (電源セーバー) • Balanced (平衡型) • High performance (ハイパフォーマンス) この設定は Windows Vista クライアント・コンピューターでのみサポートされます。
Search and indexing (DC) (検索と索引付け (DC))	検索の速度と索引付けのパフォーマンスを指定します。 次の値を指定できます。 • Power Saver (電源セーバー) • Balanced (平衡型) • High performance (ハイパフォーマンス) この設定は Windows Vista クライアント・コンピューターでのみサポートされます。
USB selective suspend (AC) (USB の選択的使用停止 (AC))	コンピューターが個々のポートを使用停止にできるかどうかを指定します。 このポリシー設定を有効にし、**『Enabled』**を選択すると、コンピューターは個々のポートを使用停止にできます。 この設定は Windows XP クライアント・コンピューターではサポートされていません。
USB selective suspend (DC) (USB の選択的使用停止 (DC))	コンピューターが個々のポートを使用停止にできるかどうかを指定します。 このポリシー設定を有効にし、**『Enabled』**を選択すると、コンピューターは個々のポートを使用停止にできます。 この設定は Windows XP クライアント・コンピューターではサポートされていません。
Slide show (AC) (スライド・ショー (AC))	デスクトップ・バックグラウンド・スライド・ショーの動作を指定します。 次の値を指定できます。 • Available (使用可能) • Paused (一時停止) この設定は Windows 7 クライアント・コンピューターでのみサポートされます。

表 2. 電源プラン (電源設定) デプロイメント (続き)

ポリシー設定	説明
Slide show (DC) (スライド・ショー (DC))	デスクトップ・バックグラウンド・スライド・ショーの動作を指定します。 次の値を指定できます。 • Available (使用可能) • Paused (一時停止) この設定は Windows 7 クライアント・コンピューターでのみサポートされます。
System cooling policy (AC) (システム冷却ポリシー (AC))	アクティブ冷却機能をサポートするシステム上での Windows の温度動作を指定します。 次の値を指定できます。 • Available (使用可能) • Paused (一時停止) この設定は Windows 7 クライアント・コンピューターでのみサポートされます。
System cooling policy (DC) (システム冷却ポリシー (DC))	アクティブ冷却機能をサポートするシステム上での Windows の温度動作を指定します。 次の値を指定できます。 • Available (使用可能) • Paused (一時停止) この設定は Windows 7 クライアント・コンピューターでのみサポートされます。
Fn + F4 (AC)	Fn + F4 キーを押したときに Windows オペレーティング・システムによって実行される処置を指定します。 次の処置を指定できます。 • Do nothing (何もしない) • Sleep (スリープ) • Hibernate (休止状態) この設定は Windows XP クライアント・コンピューターではサポートされていません。
Fn + F4 (DC)	Fn + F4 キーを押したときに Windows オペレーティング・システムによって実行される処置を指定します。 次の処置を指定できます。 • Do nothing (何もしない) • Sleep (スリープ) • Hibernate (休止状態) この設定は Windows XP クライアント・コンピューターではサポートされていません。

表 2. 電源プラン (電源設定) デプロイメント (続き)

ポリシー設定	説明
Power button (AC) (電源ボタン (AC))	コンピューターの電源ボタンを押したときに Windows オペレーティング・システムによって実行される処置を指定します。 次の処置を指定できます。 • Do nothing (何もしない) • Sleep (スリープ) • Hibernate (休止状態) • Shut down (シャットダウン) この設定は Windows XP クライアント・コンピューターではサポートされていません。
Power button (DC) (電源ボタン (DC))	コンピューターの電源ボタンを押したときに Windows オペレーティング・システムによって実行される処置を指定します。 次の処置を指定できます。 • Do nothing (何もしない) • Sleep (スリープ) • Hibernate (休止状態) • Shut down (シャットダウン) この設定は Windows XP クライアント・コンピューターではサポートされていません。
Lid closed (AC) (コンピューターを閉じたとき (AC))	ノートブック・コンピューターを閉じたときに Windows オペレーティング・システムによって実行される処置を指定します。 次の処置を指定できます。 • Do nothing (何もしない) • Sleep (スリープ) • Hibernate (休止状態) • Shut down (シャットダウン) この設定は Windows XP クライアント・コンピューターではサポートされていません。
Lid closed (DC) (コンピューターを閉じたとき (DC))	ノートブック・コンピューターを閉じたときに Windows オペレーティング・システムによって実行される処置を指定します。 次の処置を指定できます。 • Do nothing (何もしない) • Sleep (スリープ) • Hibernate (休止状態) • Shut down (シャットダウン) この設定は Windows XP クライアント・コンピューターではサポートされていません。

表 2. 電源プラン (電源設定) デプロイメント (続き)

ポリシー設定	説明
Start menu power button (AC) (スタート・メニュー電源ボタン (AC))	**『スタート』**メニューの電源ボタンを選択したときに Windows オペレーティング・システムによって実行される処置を指定します。 次の処置を指定できます。 • Sleep (スリープ) • Hibernate (休止状態) • Shut down (シャットダウン) この設定は Windows Vista クライアント・コンピューターでのみサポートされます。
Start menu power button (DC) (スタート・メニュー電源ボタン (DC))	**『スタート』**メニューの電源ボタンを選択したときに Windows オペレーティング・システムによって実行される処置を指定します。 次の処置を指定できます。 • Sleep (スリープ) • Hibernate (休止状態) • Shut down (シャットダウン) この設定は Windows Vista クライアント・コンピューターでのみサポートされます。
Low battery alarm level (AC) (バッテリー低下アラームのレベル (AC))	バッテリー低下アラームの処置を起動する、バッテリー容量の残りの比率を指定します。 このポリシー設定を有効にした場合は、数値 (比率) を入力して、容量の低下を通知するバッテリー・レベルを設定する必要があります。 起動される処置の設定については、10 ページの 表 2『電源プラン (電源設定) デプロイメント』で『Low battery action (AC) (バッテリー低下時の処置 (AC))』ポリシー設定を参照してください。 この設定は Windows XP クライアント・コンピューターではサポートされていません。
Low battery alarm level (DC) (バッテリー低下アラームのレベル (DC))	バッテリー低下アラームの処置を起動する、バッテリー容量の残りの比率を指定します。 このポリシー設定を有効にした場合は、数値 (比率) を入力して、容量の低下を通知するバッテリー・レベルを設定する必要があります。 起動される処置の設定については、10 ページの 表 2『電源プラン (電源設定) デプロイメント』で『Low battery action (AC) (バッテリー低下時の処置 (AC))』ポリシー設定を参照してください。 この設定は Windows XP クライアント・コンピューターではサポートされていません。

表 2. 電源プラン (電源設定) デプロイメント (続き)

ポリシー設定	説明
Low battery alarm notification (AC) (バッテリー低下アラームの通知 (AC))	バッテリー容量の残りがバッテリー低下アラームのレベルになったときに実行されるユーザーへの通知を有効にします。 このポリシー設定を有効にし、**『On』**を選択すると、バッテリー容量の残りがバッテリー低下アラームのレベルになったときに Windows オペレーティング・システムによって通知が表示されます。 バッテリー低下アラームのレベルの構成については、10 ページの 表 2『電源プラン (電源設定) デプロイメント』で『Low battery alarm level (AC) (バッテリー低下アラームのレベル (AC))』ポリシー設定を参照してください。通知が表示されるのは、『**Low battery action (バッテリー低下の処置)**』ポリシー設定が『**Do nothing (何もしない)**』に設定されている場合だけです。このポリシー設定を無効にするか構成していない場合はこの設定が表示されるので、そこで設定を変更できます。 この設定は Windows XP クライアント・コンピューターではサポートされていません。
Low battery alarm notification (DC) (バッテリー低下アラームの通知 (DC))	バッテリー容量の残りがバッテリー低下アラームのレベルになったときに実行されるユーザーへの通知を有効にします。 このポリシー設定を有効にし、**『On』**を選択すると、バッテリー容量の残りがバッテリー低下アラームのレベルになったときに Windows オペレーティング・システムによって通知が表示されます。 バッテリー低下アラームのレベルの構成については、10 ページの 表 2『電源プラン (電源設定) デプロイメント』で『Low battery alarm level (AC) (バッテリー低下アラームのレベル (AC))』ポリシー設定を参照してください。通知が表示されるのは、『**Low battery action (バッテリー低下の処置)**』ポリシー設定が『**Do nothing (何もしない)**』に設定されている場合だけです。このポリシー設定を無効にするか構成していない場合はこの設定が表示されるので、そこで設定を変更できます。 この設定は Windows XP クライアント・コンピューターではサポートされていません。
Low battery action (AC) (バッテリー低下時の処置 (AC))	バッテリー容量がバッテリー低下アラーム・レベルに達したときに Windows オペレーティング・システムが実行する処置を指定します。 次の処置を指定できます。 • Do nothing (何もしない) • Sleep (スリープ) • Hibernate (休止状態) • Shut down (シャットダウン) この設定は Windows XP クライアント・コンピューターではサポートされていません。

表 2. 電源プラン (電源設定) デプロイメント (続き)

ポリシー設定	説明
Low battery action (DC) (バッテリー低下時の処置 (DC))	バッテリー容量がバッテリー低下アラーム・レベルに達したときに Windows オペレーティング・システムが実行する処置を指定します。 次の処置を指定できます。 • Do nothing (何もしない) • Sleep (スリープ) • Hibernate (休止状態) • Shut down (シャットダウン) この設定は Windows XP クライアント・コンピューターではサポートされていません。
Reserve battery alarm level (AC) (予約バッテリー・アラームのレベル (AC))	予約電源モードを起動するバッテリー容量の残りの比率を指定します。 このポリシー設定を有効にした場合は、数値 (比率) を入力して、予約電源通知を起動するバッテリー・レベルを設定する必要があります。 この設定は Windows 7 クライアント・コンピューターでのみサポートされます。
Reserve battery alarm level (DC) (予約バッテリー・アラームのレベル (DC))	予約電源モードを起動するバッテリー容量の残りの比率を指定します。 このポリシー設定を有効にした場合は、数値 (比率) を入力して、予約電源通知を起動するバッテリー・レベルを設定する必要があります。 この設定は Windows 7 クライアント・コンピューターでのみサポートされます。
Critical battery alarm level (AC) (重大なバッテリー・アラームのレベル (AC))	重大なバッテリー・アラームの処置を起動するバッテリー容量の残りの比率を指定します。 このポリシー設定を有効にした場合は、数値 (比率) を入力して、重大な通知を起動するバッテリー・レベルを設定する必要があります。 **注**：値は、**『Low battery alarm level』**で指定したレベルより小さくする必要があります。 起動される処置の設定については、 ページの 『』で Critical battery alarm action (AC) (重大なバッテリー・アラーム時の処置 (AC))ポリシー設定を参照してください。 このポリシー設定を無効にするか構成していない場合はこの設定が表示されるので、そこで設定を変更できます。 この設定は Windows XP クライアント・コンピューターではサポートされていません。

表 2. 電源プラン (電源設定) デプロイメント (続き)

ポリシー設定	説明
Critical battery alarm level (DC) (重大なバッテリー・アラームのレベル (DC))	重大なバッテリー・アラームの処置を起動するバッテリー容量の残りの比率を指定します。 このポリシー設定を有効にした場合は、数値 (比率) を入力して、重大な通知を起動するバッテリー・レベルを設定する必要があります。 **注**：値は、**『Low battery alarm level』**で指定したレベルより小さくする必要があります。 起動される処置の設定については、 ページの 『』で Critical battery alarm action (AC) (重大なバッテリー・アラーム時の処置 (AC))ポリシー設定を参照してください。 このポリシー設定を無効にするか構成していない場合はこの設定が表示されるので、そこで設定を変更できます。 この設定は Windows XP クライアント・コンピューターではサポートされていません。
Critical battery alarm action (AC) (重大なバッテリー・アラーム時の処置 (AC))	バッテリー容量が重大なバッテリー・アラーム・レベルに達したときに Windows オペレーティング・システムが実行する処置を指定します。 次の処置を指定できます。 • Do nothing (何もしない) • Sleep (スリープ) • Hibernate (休止状態) • Shut down (シャットダウン) この設定は Windows XP クライアント・コンピューターではサポートされていません。
Critical battery alarm action (DC) (重大なバッテリー・アラーム時の処置 (DC))	バッテリー容量が重大なバッテリー・アラーム・レベルに達したときに Windows オペレーティング・システムが実行する処置を指定します。 次の処置を指定できます。 • Do nothing (何もしない) • Sleep (スリープ) • Hibernate (休止状態) • Shut down (シャットダウン) この設定は Windows XP クライアント・コンピューターではサポートされていません。

共通省電力設定

『Global Power Setting』ポリシーを使用して、共通省電力設定を構成できます。

『Global Power Setting』ポリシーを構成するには、次のようにします。

- Windows XP クライアント・コンピューターの場合 (ADM および ADMX ファイル)

  『コンピュータの構成』で、**『管理用テンプレート』** ➔ **『Lenovo ThinkVantage コンポーネント』** ➔ **『Power Manager』** ➔ **『共通省電力設定』**の順にクリックします。

- Windows Vista または Windows 7 クライアント・コンピューターの場合 (ADM ファイル)

  『コンピュータの構成』で、**『管理用テンプレート』** ➔ **『従来の管理用テンプレート』** ➔ **『Lenovo ThinkVantage コンポーネント』** ➔ **『Vista/7 用 Power Manager』** ➔ **『共通省電力設定』**の順にクリックします。

- Windows Vista または Windows 7 クライアント・コンピューターの場合 (ADMX ファイル)

  『コンピュータの構成』で、**『管理用テンプレート』** ➔ **『Lenovo ThinkVantage コンポーネント』** ➔ **『Vista/7 用 Power Manager』** ➔ **『共通省電力設定』**の順にクリックします。

次の表に、各ポリシーに関する詳細情報を示します。

表 3. 共通省電力設定

ポリシー設定	説明
Beep when power state changes (電力の状態が変化したらビープ音を鳴らす)	コンピューターが次のいずれかの状態になったときにビープ音を鳴らすことを指定します。 • コンピューターがスタンバイ状態になったとき。 • スタンバイ状態後にコンピューターが操作を再開したとき。 • コンピューターが休止状態になったとき。 • 休止状態後にコンピューターが操作を再開したとき。 • AC 電源アダプターをコンピューターに接続するかコンピューターから外したとき。 このポリシー設定を有効にすると、コンピューターがビープ音を鳴らします。
Require password on standby resume (スタンバイから再開したときにパスワードを要求する)	システムがスリープから再開したときにユーザーにパスワードを要求するプロンプトを出すかどうかを指定します。 このポリシー設定を有効にすると、システムがスリープから再開したときにユーザーにパスワードを要求するプロンプトが出されます。 この設定がサポートされるのは、管理者アカウントのみです。Windows Vista および Windows 7 オペレーティング・システムの場合、この設定が効力を持つのは、ユーザー・アカウント制御 (User Account Control) (UAC) 機能が無効になっているときのみです。
Enable Hibernation (休止状態を有効にする)	コンピューターが休止状態に入れるようにするかどうかを指定します。 この設定は Windows XP クライアント・コンピューターでのみサポートされます。

表 3. 共通省電力設定 (続き)

ポリシー設定	説明
Always On USB (常に USB に電源を供給する)	コンピューターがスタンバイ状態、休止状態、または電源オフのときに、USB 電源を供給するかどうかを指定します。 次のモードを指定できます。 • iPod® または iPhone® デジタル・デバイス • BlackBerry® スマートフォン・デバイス • その他 • 自動検出されたデバイス 一部のシステムでは、『**コンピューターが休止状態になるか、または電源がオフになっても有効にする**』オプションが有効になっている場合を除き、コンピューターが休止状態になるか、または電源がオフになると『Always On USB』オプションが無効になります。 **注**：このポリシー設定を有効にするには、モードを選択しなければなりません。
Apply Video playback power plan automatically (ビデオ再生電源プランを自動的に適用する)	WinDVD® でブルーレイを再生中に電源プランを自動的に変更するかどうかを指定します。 このポリシー設定を有効にすると、WinDVD でブルーレイを再生中に電源プランが『ビデオ再生 (Video Playback)』に切り替わります。
30 Day Standby (30 日間スタンバイ)	30 日間スタンバイ機能を有効にするかどうかを指定します。 30 日間スタンバイ機能を有効にすることにより、バッテリーの駆動時間を長くすることができます。 構成オプションは次のとおりです。 • Not configured (構成しない) • Enabled (有効) • Disabled (無効) このポリシー設定を有効にした場合、Power Manager ではコンピューターとコンピューターの構成に従ってコンピューターの電源状態を自動的に変更します。 このポリシーを有効化した後、クライアント・コンピューターを再起動して設定を有効にします。この設定は、Power Manger が数か月間コンピューターのスリープと再開の操作を追跡して要約した後で有効になります。 • コンピューターがディープ・スリープ状態をサポートしている場合は、指定されたスリープ状態の期間が経過すると、ディープ・スリープ状態になります。 • コンピューターがディープ・スリープ状態をサポートしていない場合は、指定されたスリープ状態の期間が経過すると、休止状態になります。 ハードディスク・ドライブが暗号化されているか保護されている場合、コンピューターは、指定されたスリープ状態の期間が経過しても、スリープ状態から休止状態に

表 3. 共通省電力設定 (続き)

ポリシー設定	説明
	なりません。この場合は、警告メッセージまたはパスワード認証メッセージが表示される場合があります。 次の状況下では、コンピューターはディープ・スリープ状態または休止状態になりません。 • 『Always On USB』オプションが有効で、iPod デジタル・デバイス、iPhone デジタル・デバイス、または BlackBerry スマートフォン・デバイスが接続されている。 • 認定されていないバッテリーが取り付けられている。 • AC 電源アダプターが接続されている。 **注：** • DVD 再生、ビデオ録画、タスク・スケジューラー・ソフトウェアなどのスリープ解除タイマーが使用されているときは優先され、スリープ状態の期間が変更されることがあります。 • WinDVD を使用している場合は、スリープ状態の期間が変更されることがあります。 • コンピューターをディープ・スリープ状態から再開するには、スリープ状態から再開するよりも時間がかかります。 • この設定は Windows 7 クライアント・コンピューターでのみサポートされます。
Instant Internet (インスタント・インターネット)	インスタント・インターネット機能を有効にするかどうかを指定します。 構成オプションは次のとおりです。 • Not configured (構成しない) • Enabled (有効) • Disabled (無効) このポリシー設定を有効にすると、コンピューターはスタンバイ状態から復帰するとすぐにインターネットへの接続を試行します。 この設定は Windows 7 クライアント・コンピューターでのみサポートされます。
Hybrid Power Boost (ハイブリッド・パワー・ブースト)	ハイブリッド・パワー・ブースト機能を有効にするかどうかを指定します。 構成オプションは次のとおりです。 • Not configured (構成しない) • Enabled (有効) • Disabled (無効) このポリシー設定を有効にすると、コンピューターはバッテリーと AC 電源アダプターを同時に使用して高パフォーマンスを実現します。

表 3. 共通省電力設定 (続き)

ポリシー設定	説明
	このポリシー設定を有効にした場合は、電源状況が『**充電中**』または『**操作なし**』の場合でも、バッテリー・ゲージが減少する場合があります。このような場合、『**フル充電に必要な時間**』の値が常に正確とは限りません。
Dynamic Brightness Control (動的な明るさ調節)	次の特定の状況で液晶ディスプレイの輝度を自動的に下げるかどうかを指定します。 • コンピューターを開始またはシャットダウンするとき • システムをログオフするとき • ユーザーを切り替えるとき • コンピューターが画面をロックしているとき • コンピューターがスクリーン・セーバーを表示しているとき
Undock action (ドッキング解除時の処置)	コンピューターのドッキングを解除したときに Windows オペレーティング・システムによって実行される処置を指定します。 次の処置を指定できます。 • No action (処置なし) • Standby (スタンバイ) • Hibernate (休止状態)
CD-ROM speed (CD-ROM の速度)	CD-ROM ドライブの速度を指定します。 次の速度を指定できます。 • High performance (ハイパフォーマンス) • Normal (標準) • Silent (サイレント)
Power Management CPU (省電力 CPU)	指定した間隔内にシステム・アクティビティーがなかったときに Windows オペレーティング・システムによって実行される処置を指定します。 次の処置を指定できます。 • Automatic (自動) • Disabled (無効) 『**Automatic (自動)**』を選択すると、指定した間隔内にシステム・アクティビティーがなかったときに、パワー・マネージメント機能が有効になり、マイクロプロセッサーのクロックが自動的に停止します。 『**Disabled (無効)**』を選択すると、バッテリー駆動時間は短くなります。

表 3. 共通省電力設定 (続き)

ポリシー設定	説明
Power Management PCI bus (省電力 PCI バス)	指定した間隔内にシステム・アクティビティーがなかったときに Windows オペレーティング・システムによって実行される処置を指定します。 次の処置を指定できます。 • Automatic (自動) • Disabled (無効) **『Automatic (自動)』**を選択すると、アクティビティーがないときに PCI バス・クロックが停止します。 **『Disabled (無効)』**を選択すると、バッテリー駆動時間は短くなります。
Fn + F4	Fn + F4 キーを押したときに Windows オペレーティング・システムによって実行される処置を指定します。 次の処置を指定できます。 • Do nothing (何もしない) • Sleep (スリープ) • Hibernate (休止状態)
Power button (電源ボタン)	電源ボタンを押したときに Windows オペレーティング・システムによって実行される処置を指定します。 次の処置を指定できます。 • Do nothing (何もしない) • Sleep (スリープ) • Hibernate (休止状態) • Shut down (シャットダウン)
Lid closed (コンピューターを閉じたとき)	ノートブック・コンピューターを閉じたときに Windows オペレーティング・システムによって実行される処置を指定します。 次の処置を指定できます。 • Do nothing (何もしない) • Sleep (スリープ) • Hibernate (休止状態) • Shut down (シャットダウン)
Start menu power button (スタート・メニュー電源ボタン)	**『スタート』**メニューの電源ボタンを選択したときに Windows オペレーティング・システムによって実行される処置を指定します。 次の処置を指定できます。 • Sleep (スリープ) • Hibernate (休止状態) • Shut down (シャットダウン) この設定は Windows Vista クライアント・コンピューターでのみサポートされます。

表 3. 共通省電力設定 (続き)

ポリシー設定	説明
Enable Low battery alarm (バッテリー低下アラームの有効化)	コンピューターがバッテリー低下アラームを有効にするかどうかを指定します。 この設定は Windows XP クライアント・コンピューターでのみサポートされます。
Low battery alarm level (バッテリー低下アラームのレベル)	バッテリー低下アラームの処置を起動する、バッテリー容量の残りの比率を指定します。 このポリシー設定を有効にした場合は、数値 (比率) を入力して、容量の低下を通知するバッテリー・レベルを設定する必要があります。 起動される処置の設定については、33 ページの 表 3『共通省電力設定』で『low battery alarm notification (バッテリー低下時のアラーム通知)』ポリシー設定を参照してください。
Low battery alarm notification (バッテリー低下アラームの通知)	バッテリー容量の残りがバッテリー低下アラームのレベルになったときに実行されるユーザーへの通知を有効にします。 Windows XP クライアント・コンピューターの場合、次のような通知があります。 • No action (処置なし) • Message (メッセージ) • Beep (ビープ音) • Message and beep (メッセージとビープ音) Windows Vista および Windows 7 クライアント・コンピューターの場合、次のような通知があります。 • Off (オフ) • On (オン)
Low battery action (バッテリー低下の処置)	バッテリー容量がバッテリー低下アラーム・レベルに達したときに Windows オペレーティング・システムが実行する処置を指定します。 Windows XP クライアント・コンピューターでは次の処置を指定できます。 • No action (処置なし) • Standby (スタンバイ) • Hibernate (休止状態) • Shutdown (シャットダウン) • Maximize battery life (バッテリー寿命の最大化) Windows Vista および Windows 7 クライアント・コンピューターでは次の処置を指定できます。 • Do nothing (何もしない) • Sleep (スリープ) • Hibernate (休止状態) • Shut down (シャットダウン)

表 3. 共通省電力設定 (続き)

ポリシー設定	説明
	• Maximize battery life (バッテリー寿命の最大化)
Enable Critical battery alarm (重大なバッテリー・アラームの有効化)	コンピューターが重大なバッテリー・アラームを有効にするかどうかを指定します。 この設定は Windows XP クライアント・コンピューターでのみサポートされます。
Critical battery alarm level (重大なバッテリー・アラームのレベル)	重大なバッテリー・アラームの処置を起動するバッテリー容量の残りの比率を指定します。 このポリシー設定を有効にした場合は、数値 (比率) を入力して、重大な通知を起動するバッテリー・レベルを設定する必要があります。 **注**：値は、**『Low battery alarm level』**で指定したレベルより小さくする必要があります。 起動される処置の設定については、33 ページの 表 3『共通省電力設定』で『critical battery alarm action (重大なバッテリー・アラームの処置)』ポリシー設定を参照してください。
Critical battery alarm notification (重大なバッテリー・アラームの通知)	バッテリー容量の残りが重大なバッテリー・アラームのレベルになったときのユーザーへの通知を有効にします。 次のような通知があります。 • No action (処置なし) • Message (メッセージ) • Beep (ビープ音) • Message and beep (メッセージとビープ音) **注**：この設定がサポートされるのは、Windows XP クライアント・コンピューターの管理者アカウントのみです。
Critical battery alarm action (重大なバッテリー・アラーム時の処置)	バッテリー容量が重大なバッテリー・アラーム・レベルに達したときに Windows オペレーティング・システムが実行する処置を指定します。 Windows XP クライアント・コンピューターでは次の処置を指定できます。 • No action (処置なし) • Standby (スタンバイ) • Hibernate (休止状態) • Shutdown (シャットダウン) Windows Vista および Windows 7 クライアント・コンピューターでは次の処置を指定できます。 • Do nothing (何もしない) • Sleep (スリープ) • Hibernate (休止状態) • Shut down (シャットダウン)

表 3. 共通省電力設定 (続き)

ポリシー設定	説明
External monitor brightness (外付けモニター輝度)	外付けモニターの輝度レベルを 100 個のレベルで指定します。 このポリシー設定を有効にする場合、目的の輝度レベルを選択する必要があります。高い輝度レベルを選択すると、外付けモニターの輝度は向上します。 この設定は、クライアント・コンピューターと外付けモニターの両方が Display Data Channel/Command Interface (DDC/CI) プロトコルに対応している場合にのみ、サポートされます。 **注：** 1. 輝度レベルの範囲は 0 から 100 です。高い輝度レベルを選択すると、外付けモニターの輝度は向上します。このポリシー設定は、輝度レベルが 100 を超えるモニターには対応していません。 2. この設定は Windows XP クライアント・コンピューターではサポートされていません。
Dim external monitor brightness (外付けモニター輝度の暗転)	時間と輝度レベルを指定します。非アクティブ状態がその時間より長く続いた場合に、クライアント・コンピューターが外付けモニターの輝度と輝度レベルを自動的に下げるようにします。指定した時間の後に『**Dim external monitor brightness (外付けモニター輝度の暗転)**』設定が有効になり、そのとき、ここで指定した輝度レベルになります。 非アクティブの時間は、秒単位で指定できます。 この設定は、クライアント・コンピューターと外付けモニターの両方が Display Data Channel/Command Interface (DDC/CI) プロトコルに対応している場合にのみ、サポートされます。 **注：** 1. 輝度レベルの範囲は 0 から 100 です。高い輝度レベルを選択すると、モニターの輝度は向上します。このポリシー設定は、輝度レベルが 100 を超えるモニターには対応していません。 2. この設定は Windows XP クライアント・コンピューターではサポートされていません。

バッテリー保守

Battery Maintenance (バッテリー保守) ポリシーを使用すると、バッテリー保守設定を構成できます。

『Battery Maintenance (バッテリー保守)』ポリシーを構成するには、次のようにします。

- Windows XP クライアント・コンピューターの場合 (ADM および ADMX ファイル)

  『**コンピュータの構成**』で、『**管理用テンプレート**』 ➔ 『**Lenovo ThinkVantage コンポーネント**』 ➔ 『**Power Manager**』 ➔ 『**バッテリー保守**』の順にクリックします。

- Windows Vista または Windows 7 クライアント・コンピューターの場合 (ADM ファイル)

『コンピュータの構成』で、**『管理用テンプレート』 ➔ 『従来の管理用テンプレート』 ➔ 『Lenovo ThinkVantage コンポーネント』 ➔ 『Vista/7 用 Power Manager』 ➔ 『バッテリー保守』**の順にクリックします。

- Windows Vista または Windows 7 クライアント・コンピューターの場合 (ADMX ファイル)

  『コンピュータの構成』で、**『管理用テンプレート』 ➔ 『Lenovo ThinkVantage コンポーネント』 ➔ 『Vista/7 用 Power Manager』 ➔ 『バッテリー保守』**の順にクリックします。

次の表に、各ポリシー設定に関する詳細情報を示します。

表 4. バッテリー保守

ポリシー設定	**説明**
Battery charge thresholds (バッテリー充電のしきい値)	バッテリー充電のしきい値を指定します。 このポリシーは、*標準*バッテリーにのみ適用されます。 充電のしきい値の可能な値は、次のとおりです。 • Always fully charge (Start when below 96%; stop at 100%) (常にフル充電 (96% 以下で開始、100% で停止)) • Optimize for battery lifespan (automatically change for me) (バッテリー寿命を最適化 (自動的に変更)) **注**：このオプションを選択すると、『Notify me when thresholds change (しきい値が変更されたときに通知する)』設定が選択できるようになります。 • カスタム **注**：このオプションを選択する場合は、『**Stop charging at (次のときに充電を停止)**』スピン・ボックスの値は、『**Start charging when below (次の値以下になったら充電開始)**』スピン・ボックスの値よりも少なくとも 4% は大きい値に設定する必要があります。それ以外の場合は、『Always fully charge (Start when below 96%; stop at 100%) (常にフル充電 (96% 以下で開始、100% で停止))』設定をクライアント・コンピューターにデプロイします。
Battery charge modes (バッテリー充電モード)	バッテリー充電モードを指定します。 このポリシーは、*デュアル・モード*のバッテリーにのみ適用されます。 指定できる充電モードは次のとおりです。 • Always fully charge (Start when below 96%; stop at 100%) (常にフル充電 (96% 以下で開始、100% で停止)) • Optimize for battery lifespan (automatically change for me) (バッテリー寿命を最適化 (自動的に変更)) **注**：このオプションを選択すると、『Notify me when thresholds change (しきい値が変更されたときに通知する)』設定が選択できるようになります。 • カスタム **注**：このオプションを選択する場合は、『**Stop charging at (次のときに充電を停止)**』スピン・ボックスの値は、『**Start charging when below (次の値以下になったら充電開始)**』スピン・ボックスの値よりも

表 4. バッテリー保守 (続き)

ポリシー設定	説明
	少なくとも 4% は大きい値に設定する必要があります。それ以外の場合は、『Always fully charge (Start when below 96%; stop at 100%) (常にフル充電 (96% 以下で開始、100% で停止))』設定をクライアント・コンピューターにデプロイします。
Battery firmware update automatic check (バッテリー・ファームウェアの更新の自動検査)	バッテリー・ファームウェアの更新を自動検査し、検査後、『**最終チェック日**』を更新します。 構成オプションは次のとおりです。 • Not configured (構成しない) • Enabled (有効) **注**：このオプションを選択した場合は、『**自動モードの有効化**』を選択してこのポリシー設定を有効にする必要があります。 • Disabled (無効) この設定は Windows 7 クライアント・コンピューターでのみサポートされます。

電源スケジュール・デプロイメント

Power Agenda Deployments (電源スケジュール・デプロイメント) ポリシーを使用すると、電源スケジュール・デプロイメント設定を構成できます。

Power Agenda Deployments (電源スケジュール・デプロイメント) ポリシーを構成するには、次のようにします。

- Windows XP クライアント・コンピューターの場合 (ADM および ADMX ファイル)

  『**ユーザーの構成**』で、『**管理用テンプレート**』 ➔ 『**Lenovo ThinkVantage コンポーネント**』 ➔ 『**Power Manager**』 ➔ 『**バッテリー電源スケジュール・デプロイメント**』の順にクリックします。
- Windows Vista または Windows 7 クライアント・コンピューターの場合 (ADM ファイル)

  『**ユーザーの構成**』で、『**管理用テンプレート**』 ➔ 『**従来の管理用テンプレート**』 ➔ 『**Lenovo ThinkVantage コンポーネント**』 ➔ 『**Vista/7 用 Power Manager**』 ➔ 『**電源スケジュール・デプロイメント**』の順にクリックします。
- Windows Vista または Windows 7 クライアント・コンピューターの場合 (ADMX ファイル)

  『**ユーザーの構成**』で、『**管理用テンプレート**』 ➔ 『**Lenovo ThinkVantage コンポーネント**』 ➔ 『**Vista/7 用 Power Manager**』 ➔ 『**電源スケジュール・デプロイメント**』の順にクリックします。

次の表に、各ポリシーに関する詳細情報を示します。

表 5. 電源スケジュール・デプロイメント

ポリシー設定	説明
New (新規作成)	クライアント・コンピューターの『**電源スケジュール**』タブでユーザーが電源スケジュールを作成することを許可するかどうかを指定します。 このポリシー設定を有効にすると、ユーザーはクライアント・コンピューター上で電源スケジュールを作成できるようになります。 このポリシー設定を無効にすると、『**新規作成**』ボタンが使用不可となり、ユーザーは電源スケジュールを作成できなくなります。
Edit (編集)	クライアント・コンピューターの『**電源スケジュール (Power Agendas)**』タブでユーザーが電源スケジュールを編集することを許可するかどうかを指定します。 このポリシー設定を有効にすると、ユーザーはクライアント・コンピューター上で電源スケジュールを編集できるようになります。 このポリシー設定を無効にすると、『**編集**』ボタンが使用不可となり、選択した電源スケジュールを編集できなくなります。 **注**：電源スケジュールの編集をクライアント・コンピューターのユーザーに許可するには、その電源スケジュールの『**Configurable (構成可能)**』ポリシー設定も有効にする必要があります。45 ページの 表 6『Power Agenda*』で、『Configurable (構成可能)』ポリシー設定を参照してください。
Delete (削除)	クライアント・コンピューターの『**電源スケジュール (Power Agendas)**』タブでユーザーが電源スケジュールを編集することを許可するかどうかを指定します。 このポリシー設定を有効にすると、ユーザーはクライアント・コンピューター上で電源スケジュールを編集できるようになります。 クライアント・コンピューターの『**電源スケジュール (Power Agendas)**』タブでユーザーが電源スケジュールを削除することを許可するかどうかを指定します。 このポリシー設定を有効にすると、ユーザーはクライアント・コンピューター上で電源スケジュールを削除できるようになります。 このポリシー設定を無効にすると、『**削除**』ボタンが使用不可となり、選択した電源スケジュールを削除できなくなります。 このポリシー設定を無効にすると、『**編集**』ボタンが使用不可となり、選択した電源スケジュールを編集できなくなります。 **注**：電源スケジュールの削除をクライアント・コンピューターのユーザーに許可するには、その電源スケジュールの『**Configurable (構成可能)**』ポリシー設定も

表 5. 電源スケジュール・デプロイメント (続き)

ポリシー設定	説明
	有効にする必要があります。45 ページの 表 6『Power Agenda*』で、『Configurable (構成可能)』ポリシー設定を参照してください。
PolicyStamp (ポリシー・スタンプ)	以前のデプロイメントを上書きするためにクライアント・コンピューターにデプロイする必要のある、更新されたデプロイメントを使用できるかどうかを示すポリシー・スタンプを指定します。 このポリシー設定を有効にすると、更新したデプロイメントが以前のデプロイメントと異なる場合に、更新したデプロイメントがクライアント・コンピューターにデプロイされ、以前のデプロイメントが上書きされます。 **注：** 1. デプロイメントごとに以前のデプロイメントとは異なるポリシー・スタンプを設定し、使用する必要があります。たとえば、ポリシー・スタンプとして現在の日付と時刻を設定します。 2. このポリシー設定を無効にするか構成しない場合、更新したデプロイメントはクライアント・コンピューターにデプロイされず、以前のデプロイメントは上書きされません。 3. 電源スケジュールをデプロイすると、エンド・ユーザーが作成した電源スケジュールはすべて、上書きされます。 4. 電源スケジュール・ポリシーをデプロイするとき、コンピューターでは、他のポリシー設定と競合するかどうかについてのチェックは自動的には行われません。競合が存在する場合、デプロイメント・プロセスは警告なしに停止されることがあります。このため、電源スケジュールのデプロイメント・プロセスが完了したかどうかを確認する必要があります。

電源スケジュールの各デプロイでは、最大 10 個の電源スケジュールを指定できます。

1 から 10 の電源スケジュールを構成するには、次のようにします。

- Windows XP クライアント・コンピューターの場合 (ADM および ADMX ファイル)

  『**ユーザーの構成**』で、**『管理用テンプレート』** ➔ **『Lenovo ThinkVantage コンポーネント』** ➔ **『Power Manager』** ➔ **『電源スケジュール・デプロイメント』** ➔ **『Power Agenda*』**の順にクリックします。

- Windows Vista または Windows 7 クライアント・コンピューターの場合 (ADM ファイル)

  『**ユーザーの構成**』で、**『管理用テンプレート』** ➔ **『従来の管理用テンプレート』** ➔ **『Lenovo ThinkVantage コンポーネント』** ➔ **『Vista/7 用 Power Manager』** ➔ **『電源スケジュール・デプロイメント』** ➔ **『Power Agenda*』**の順にクリックします。

- Windows Vista または Windows 7 クライアント・コンピューターの場合 (ADMX ファイル)

  『**ユーザーの構成**』で、**『管理用テンプレート』** ➔ **『Lenovo ThinkVantage コンポーネント』** ➔ **『Vista/7 用 Power Manager』** ➔ **『電源スケジュール・デプロイメント』** ➔ **『Power Agenda*』**の順にクリックします。

注： * は 1 から 10 の数字を表します。

クライアント・コンピューターに特定の電源スケジュールをデプロイするには、次の表に示す電源スケジュール設定を構成します。

*表 6. Power Agenda**

ポリシー設定	説明
Run (実行)	この電源スケジュールを実行するかどうかを指定します。 このポリシー設定を有効にするか構成しないときは、**『電源スケジュール (Power Agendas)』**タブでその電源スケジュールのチェック・ボックスを選択します。これにより、この電源スケジュールはクライアント・コンピューターで実行されるようになります。 このポリシー設定を無効にするときは、その電源スケジュールのチェック・ボックスをクリアします。これにより、この電源スケジュールはクライアント・コンピューターで実行されなくなります。
Configurable (構成可能)	クライアント・コンピューターでユーザーがこの電源スケジュールを編集または削除できるかどうかを指定します。 このポリシー設定を有効にすると、クライアント・コンピューターでユーザーは選択した電源スケジュールを編集または削除することができます。 このポリシー設定を無効にするか構成しない場合、クライアント・コンピューターでユーザーは選択した電源スケジュールを編集または削除することができません。 **注**：電源スケジュールの編集または削除をクライアント・コンピューターのユーザーに許可するには、その電源スケジュールの『**Edit (編集)**』または『**Delete (削除)**』ポリシー設定も有効にする必要があります。43 ページの表 5『電源スケジュール・デプロイメント』で、『Edit (編集)』ポリシー設定と『Delete (削除)』ポリシー設定を参照してください。
Name (名前)	クライアント・コンピューターにデプロイする電源スケジュールの名前を指定します。 このポリシー設定を有効にすると、その電源スケジュールに対して固有の名前を入力することも、ブランクのままにすることもできます。 **注**：名前は、1 バイト文字の場合は最大 32 文字、2 バイト文字の場合は最大 16 文字にしてください。

表 6. Power Agenda (続き)*

ポリシー設定	説明
Action (処置)	その電源スケジュールが実行する処置を指定します。 次の処置を指定できます。 • スリープ・タイマーの変更 (Windows Vista/7 の場合) またはスリープ (Windows XP の場合) • ハイバネーション・タイマーの変更 (Windows Vista/7 の場合) またはハイバネーション (Windows XP の場合) • モニター・オフ・タイマーの変更 • シャットダウン • 電源プランへの切り替え (Windows Vista/7 の場合) または電源設定への切り替え (Windows XP の場合) • モニター輝度の設定 • ピーク電力スケジューラー **注：** 1. このポリシー設定は必須です。このポリシー設定を有効にするには、処置を 1 つ選択する必要があります。 2. 処置はそれぞれ、以下の対応するポリシー設定と関係があります。処置に関連付けられているポリシー設定が未定義または無効の場合は、デフォルト値が適用されるか、または電源スケジュールはデプロイされません。 • すべての処置 – 『Name (名前)』ポリシー設定 – 『Run (実行)』ポリシー設定 – 『Configuration (構成)』ポリシー設定 – 『Days of week (曜日)』ポリシー設定 – 『Frequency (頻度)』ポリシー設定 – 『Notify (通知)』ポリシー設定 • 電源プランへの切り替え (Windows Vista/7 の場合) または電源設定への切り替え (Windows XP の場合) – 『Power Plan (電源プラン)』ポリシー設定 (Windows Vista/7 の場合) または『Power Scheme (電源設定)』ポリシー設定 (Windows XP の場合) – 『Time (時刻)』ポリシー設定 • スリープ・タイマーの変更、ハイバネーション・タイマーの変更、モニター・オフ・タイマーの変更 (Windows Vista/7 の場合) またはスリープ、ハイバネーション、モニター・オフ・タイマーの変更 (Windows XP の場合) – 『Idle Timer (アイドル・タイマー)』ポリシー設定 – 『Time (時刻)』ポリシー設定

表 6. Power Agenda (続き)*

ポリシー設定	説明
	• シャットダウン – 『Time (時刻)』ポリシー設定 • モニター輝度の設定 – 『ThinkPad LCD Brightness (ThinkPad LCD 輝度)』ポリシー設定 – 『External monitor brightness (外付けモニター輝度)』ポリシー設定 (Windows Vista/7 のみ) – 『Time (時刻)』ポリシー設定 • ピーク電力スケジューラー – 『Peak power scheduler - terms of validity (ピーク電力スケジューラー - 有効期間)』ポリシー設定 – 『Peak power scheduler - time (ピーク電力スケジューラー - 時刻)』ポリシー設定
Idle Timer (アイドル・タイマー)	時間を指定して、非アクティブ状態がその時間より長く続いた場合に、コンピューターがスリープ状態または休止状態に入るようにするか、またはコンピューターの電源をオフにするようにします。 このポリシー設定を有効にする場合は、秒単位で値を設定する必要があります。
Smart Shut Down (スマート・シャットダウン)	何らかのアプリケーションによってシャットダウン・プロセスがブロックされた場合にコンピューターを休止状態にするかどうかを指定します。 このポリシー設定を有効にしてチェック・ボックスにチェック・マークを付けると、コンピューターのシャットダウンがブロックされたときにコンピューターは休止状態になります。 このポリシー設定を有効にしてチェック・ボックスのチェックを外すと、コンピューターはシャットダウンします。 このポリシー設定を構成しないと、デフォルト設定が有効になります。
Power Plan (Scheme) (電源プラン (電源設定))	電源スケジュールの切り替え後の電源プラン (電源設定) の名前を指定します。 『**Action (処置)**』ポリシー設定を『**電源プランへの切り替え**』(Windows Vista/7 の場合) または『**電源設定への切り替え**』(Windows XP の場合) に設定する場合、このポリシー設定を有効にするとともに電源プラン (電源設定) の名前を入力する必要があります。45 ページの表 6『Power Agenda*』で、『Action (処置)』ポリシー設定を参照してください。 クライアント・コンピューター内にその電源プラン (電源設定) 名が存在しない場合、電源スケジュールはその電源プラン (電源設定) に切り替わりません。 **注：**

表 6. Power Agenda (続き)*

ポリシー設定	説明
	1. 電源プラン (電源設定) の名前は、1 バイト文字の場合は最大 32 文字、2 バイト文字の場合は最大 16 文字にしてください。 2. このポリシー設定を無効にするか構成しない場合に、『**Action (処置)**』ポリシー設定を『**電源プランへの切り替え**』(Windows Vista/7 の場合) または『**電源設定への切り替え**』(Windows XP の場合) に設定すると、クライアント・コンピューターでユーザーはその電源スケジュールを使用できません。45 ページの 表 6『Power Agenda*』で、『Action (処置)』ポリシー設定を参照してください。
ThinkPad LCD Brightness 16 (ThinkPad LCD 輝度 16)	クライアント・コンピューターのモニターの輝度レベルを 16 個のレベルで指定します (0 から 15)。 『**Action (処置)**』ポリシー設定を『**Change monitor brightness (モニター輝度の変更)**』に設定する場合、このポリシー設定を有効にするとともに輝度レベルを入力する必要があります。45 ページの 表 6『Power Agenda*』で、『Action (処置)』ポリシー設定を参照してください。 このポリシー設定を無効にするか構成しない場合に、『**Action (処置)**』ポリシー設定を『**Change monitor brightness (モニター輝度の変更)**』に設定すると、クライアント・コンピューターでユーザーはその電源スケジュールを使用できません。45 ページの 表 6『Power Agenda*』で、『Action (処置)』ポリシー設定を参照してください。 **注**：輝度レベルの範囲は 0 から 15 です。高い輝度レベルを選択すると、モニターの輝度は向上します。このポリシー設定は、輝度レベルが 15 を超えるモニターには対応していません。
ThinkPad LCD Brightness 8 (ThinkPad LCD 輝度 8)	クライアント・コンピューターのモニターの輝度レベルを 8 個のレベルで指定します (0 から 7)。 『**Action (処置)**』ポリシー設定を『**Change monitor brightness (モニター輝度の変更)**』に設定する場合、このポリシー設定を有効にするとともに輝度レベルを入力する必要があります。45 ページの 表 6『Power Agenda*』で、『Action (処置)』ポリシー設定を参照してください。 このポリシー設定を無効にするか構成しない場合に、『**Action (処置)**』ポリシー設定を『**Change monitor brightness (モニター輝度の変更)**』に設定すると、クライアント・コンピューターでユーザーはその電源スケジュールを使用できません。45 ページの 表 6『Power Agenda*』で、『Action (処置)』ポリシー設定を参照してください。 **注**：輝度レベルの範囲は 0 から 7 です。高い輝度レベルを選択すると、モニターの輝度は向上します。このポリシー設定は、輝度レベルが 7 を超えるモニターには対応していません。

表 6. Power Agenda (続き)*

ポリシー設定	説明
External monitor brightness (外付けモニター輝度)	外付けモニターの輝度レベルを指定します (0 から 100)。 『**Action (処置)**』ポリシー設定を『**Change monitor brightness (モニター輝度の変更)**』に設定する場合、このポリシー設定を有効にするとともに輝度レベルを入力する必要があります。45 ページの 表 6『Power Agenda*』で、『Action (処置)』ポリシー設定を参照してください。 このポリシー設定を無効にするか構成しない場合に、『**Action (処置)**』ポリシー設定を『**Change monitor brightness (モニター輝度の変更)**』に設定すると、クライアント・コンピューターでユーザーはその電源スケジュールを使用できません。45 ページの 表 6『Power Agenda*』で、『Action (処置)』ポリシー設定を参照してください。 **注**： 1. 輝度レベルの範囲は 0 から 100 です。高い輝度レベルを選択すると、外付けモニターの輝度は向上します。このポリシー設定は、輝度レベルが 100 を超えるモニターには対応していません。 2. この設定は Windows XP クライアント・コンピューターではサポートされていません。
Frequency (頻度)	電源スケジュール実行の時間間隔を指定します。 Frequency (頻度) に指定できる値は、次のとおりです。 • Daily (毎日) • Weekly (毎週) このポリシー設定を無効にするか構成しない場合、クライアント・コンピューターでユーザーはその電源スケジュールを使用できません。 **注**：このポリシー設定は必須です。このポリシー設定を有効にするには、頻度を 1 つ選択する必要があります。
Peak power scheduler - terms of validity (ピーク電力スケジューラー - 有効期間)	ピーク電力スケジューラーの有効期間を指定します。 『**Action (処置)**』ポリシー設定を『**Peak power scheduler (ピーク電力スケジューラー)**』に設定する場合は、このポリシー設定を有効にする必要があります。 Peak power scheduler (ピーク電力スケジューラー) の設定は、このポリシー設定で指定された期間のみ、有効になります。 **注**：無効な期間を設定すると、Power Manager によって自動的に調整されます。

表 6. Power Agenda (続き)*

ポリシー設定	説明
Time (時刻)	電源スケジュールを実行/終了する開始時刻と終了時刻 (時および分) を指定します。 このポリシー設定を有効にするには、特定の時間を設定する必要があります。 このポリシー設定を無効にするか構成しない場合に、『**Action (処置)**』ポリシー設定を『**Peak power scheduler (ピーク電力スケジューラー)**』に設定すると、クライアント・コンピューターでユーザーはその電源スケジュールを使用できません。45 ページの 表 6『Power Agenda*』で、『Action (処置)』ポリシー設定を参照してください。 **注：** 1. 『**Action (処置)**』ポリシー設定を『**Shut down (シャットダウン)**』に設定する場合は、開始時刻のみ設定します。 2. 『**Action (処置)**』ポリシー設定を『**Peak power scheduler (ピーク電力スケジューラー)**』に設定すると、電源スケジュールでは、この『Time (時刻)』ポリシー設定ではなく、『Peak power scheduler - time (ピーク電力スケジューラー - 時刻)』ポリシー設定が使用されます。
Peak power scheduler - time (ピーク電力スケジューラー - 時刻)	Peak power scheduler (ピーク電力スケジューラー) の設定が有効になるときを指定します。 『**Action (処置)**』ポリシー設定を『**Peak power scheduler (ピーク電力スケジューラー)**』に設定する場合は、このポリシー設定を有効にする必要があります。 Peak power scheduler (ピーク電力スケジューラー) の設定は、このポリシー設定で指定された期間のみ、有効になります。
Days of week (曜日)	電源スケジュールを毎週実行する曜日を指定します。 このポリシー設定を有効にするには、曜日を選択する必要があります。 このポリシー設定を無効にするか構成しない場合に、『**Frequency (頻度)**』ポリシー設定を『**Weekly (毎週)**』に設定すると、クライアント・コンピューターでユーザーはその電源スケジュールを使用できません。45 ページの 表 6『Power Agenda*』で、『Frequency (頻度)』ポリシー設定を参照してください。

表 6. Power Agenda (続き)*

ポリシー設定	説明
Notify (通知)	電源スケジュールを実行する前にユーザーに通知を行うかどうかを指定します。 このポリシー設定を有効にした場合、クライアント・コンピューターで電源スケジュールを実行する前に通知を行う時間を選択できます。通知時間は 1 分から 60 分の範囲です。 このポリシー設定を無効にするか構成しない場合、クライアント・コンピューターで電源スケジュールを実行する前に、ユーザーに対する通知が行われません。 **注**：このポリシー設定を有効にしても、通知チェック・ボックスをクリアすると、 クライアント・コンピューターで電源スケジュールを実行する前に、ユーザーに対する通知が行われません。
Disable peak power scheduler (ピーク電力スケジューラーを無効にする)	Peak power scheduler (ピーク電力スケジューラー) の設定を無効にする状況を指定します。 『**when remaining battery level is less than (バッテリー電源の残量が指定されたレベルより少なくなったとき)**』を有効にする場合は、パーセンテージ単位で値を指定する必要があります。バッテリーの残量パーセンテージが、ここで指定した値よりも小さくなると、Peak power scheduler (ピーク電力スケジューラー) の設定が無効になります。 『**automatically by monitoring the battery usage (バッテリー使用を監視して自動的に実行する)**』を有効にすると、Peak power scheduler (ピーク電力スケジューラー) の設定はバッテリー使用に応じて自動的に無効になります。

EnergyWise 構成デプロイメント

EnergyWise 構成デプロイメント・ポリシーを使用すると、EnergyWise 構成デプロイメント設定を構成できます。

EnergyWise 構成デプロイメント・ポリシーを構成するには、次のようにします。

- Windows XP クライアント・コンピューターの場合 (ADM および ADMX ファイル)

  『**コンピュータの構成**』で、『**管理用テンプレート**』 ➔ 『**Lenovo ThinkVantage コンポーネント**』 ➔ 『**Power Manager**』 ➔ 『**EnergyWise 構成デプロイメント**』の順にクリックします。

- Windows Vista または Windows 7 クライアント・コンピューターの場合 (ADM ファイル)

  『**コンピューターの構成**』で、『**管理用テンプレート**』 ➔ 『**従来の管理用テンプレート**』 ➔ 『**Lenovo ThinkVantage コンポーネント**』 ➔ 『**Vista/7 用 Power Manager**』 ➔ 『**EnergyWise 構成デプロイメント**』の順にクリックします。

- Windows Vista または Windows 7 クライアント・コンピューターの場合 (ADMX ファイル)

  『**コンピューターの構成**』で、『**管理用テンプレート**』 ➔ 『**Lenovo ThinkVantage コンポーネント**』 ➔ 『**Vista/7 用 Power Manager**』 ➔ 『**EnergyWise 構成デプロイメント**』の順にクリックします。

次の表に、各ポリシー設定に関する詳細情報を示します。

表 7. EnergyWise 構成デプロイメント

ポリシー設定	説明
EnergyWise	EnergyWise ソリューションを使用するかどうかを指定します。 構成オプションは次のとおりです。 • Not configured (構成しない) • Enabled (有効) • Disabled (無効) このポリシー設定を有効にする場合は、すべてのクライアント・コンピューターで EnergyWise ソリューションを有効にします。 このポリシー設定を無効にする場合は、すべてのクライアント・コンピューターで EnergyWise ソリューションを無効にします。 この設定は Windows 7 クライアント・コンピューターでのみサポートされます。
Port No (ポート番号)	EnergyWise ソリューションとの通信に使用するポート番号を指定します。 構成オプションは次のとおりです。 • Not configured (構成しない) • Enabled (有効) • Disabled (無効) このポリシー設定を有効にする場合は、ポート番号を指定する必要があります。 **注**：デフォルトのポート番号は 43440 です。
Domain (ドメイン)	EnergyWise ソリューションのドメイン名を指定します。 構成オプションは次のとおりです。 • Not configured (構成しない) • Enabled (有効) • Disabled (無効) このポリシー設定を有効にする場合は、EnergyWise ソリューションのドメイン名を入力する必要があります。 **注**：デフォルトのドメイン名は cisco です。

表 7. EnergyWise 構成デプロイメント (続き)

ポリシー設定	説明
Secret (シークレット)	EnergyWise ドメインの参加パスワードを指定します。 構成オプションは次のとおりです。 • Not configured (構成しない) • Enabled (有効) • Disabled (無効) このポリシー設定を有効にする場合は、EnergyWise ドメインの参加パスワードを入力する必要があります。 **注**：デフォルトの参加パスワードは cisco です。
Name (名前)	クライアント・コンピューターの名前を指定します。 構成オプションは次のとおりです。 • Not configured (構成しない) • Enabled (有効) • Disabled (無効) このポリシー設定を有効にする場合は、クライアント・コンピューターの名前を入力する必要があります。 このポリシー設定を無効にするか、または構成しないと、名前はデフォルト値に復元されます。 **注**：クライアント・コンピューター名がデフォルトの名前として使用されます。このため、デフォルトの名前はクライアント・コンピューターごとに異なります。
Role (役割)	EnergyWise の役割を指定します。 構成オプションは次のとおりです。 • Not configured (構成しない) • Enabled (有効) • Disabled (無効) このポリシー設定を有効にする場合は、クライアント・コンピューターの役割を入力する必要があります。 このポリシー設定を無効にするか、または構成しないと、役割はデフォルト値に復元されます。 **注**：マシン・タイプとモデルが役割のデフォルト値として使用されます。このため、役割のデフォルト値はクライアント・コンピューターごとに異なります。

表 7. EnergyWise 構成デプロイメント (続き)

ポリシー設定	説明
Device (デバイス)	クライアント・コンピューターのデバイス・タイプを指定します。 構成オプションは次のとおりです。 • Not configured (構成しない) • Enabled (有効) • Disabled (無効) このポリシー設定を有効にする場合は、クライアント・コンピューターのデバイス・タイプを入力する必要があります。 **注：**デフォルトのデバイス・タイプは PC です。
Importance (重要性)	EnergyWise の重要性を指定します。 構成オプションは次のとおりです。 • Not configured (構成しない) • Enabled (有効) • Disabled (無効) このポリシー設定を有効にする場合は、重要性の値を指定する必要があります。 **注：**1 から 100 の値を指定できます。
Keyword (キーワード)	EnergyWise のキーワードを指定します。 構成オプションは次のとおりです。 • Not configured (構成しない) • Enabled (有効) • Disabled (無効) このポリシー設定を有効にする場合は、クライアント・コンピューターのキーワードを入力する必要があります。

付録 A　Windows XP クライアント・コンピューター上の管理者以外のグループまたはユーザー用の電源設定のデプロイ

Windows XP クライアント・コンピューター上の管理者以外のグループまたはユーザーには、電源設定を変更する権限がありません。これは、設計上の Windows XP オペレーティング・システムの機能です。管理者以外のグループまたはユーザー用の Windows XP クライアント・コンピューターに Power Manager プランを正常にデプロイするために、IT 管理者は以下を実行して、ドメイン・サーバーを構成する必要があります。

1. ドメイン・サーバー上で、**『スタート』 ➔ 『ファイル名を指定して実行』**の順にクリックし、『**名前**』ボックスに`dsa.msc`と入力します。『Active Directory ユーザーとコンピュータ』ウィンドウが開きます。
2. ドメイン・コンテナーを右クリックし、『**プロパティ**』を選択します。『プロパティ』ウィンドウが開きます。
3. 『**グループ ポリシー**』タブをクリックし、『**新規**』ボタンをクリックして、グループ・ポリシー・オブジェクトを作成します。
4. グループ・ポリシー・オブジェクトを『`Power Configuration Policy`』という名前に変更して、Enter キーを押します。
5. 『**編集**』をクリックします。『グループ ポリシー オブジェクト エディタ』が開きます。
6. 以下のキーのセキュリティー権限を、
   `MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥Windows¥CurrentVersion¥Controls Folder¥PowerCfg`
   以下を実行することにより、設定します。
   a. 『**コンピュータの構成**』で、**『Windows の設定』 ➔ 『セキュリティの設定』**の順にクリックし、**レジストリ**を右クリックして、**キーの追加**を選択します。『レジストリ キーの選択』ウィンドウが開きます。
   b. 以下のキーを『**選択されたキー**』ボックスに入力します。
   `MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥Windows¥CurrentVersion¥Controls Folder¥PowerCfg`
   c. 『**OK**』をクリックします。『データベース セキュリティ』ウィンドウが開きます。
   d. 『**セキュリティ**』タブで、権限を付与する対象の、管理者以外のグループまたはユーザーを選択し (複数可)、そのグループまたはユーザーにフルコントロール権限を割り当てて、『**適用**』をクリックします。
   e. 『**詳細設定**』をクリックします。『詳細』ウィンドウが開きます。
   f. 『**アクセス許可**』タブでグループまたはユーザーを選択します (複数可)。次に、『**親から継承可能なアクセス許可をこのオブジェクトと子オブジェクトすべてに伝達できるようにし、それらをここで明示的に定義されているものに含める**』オプションを選択し、『**OK**』をクリックします。『オブジェクトの追加』ウィンドウが開きます。
   g. 『**継承可能なアクセス許可をすべてのサブキーに伝達する**』オプションを選択して、『**OK**』をクリックします。
7. 以下のキーのセキュリティー権限を、
   `USERS¥.DEFAULT¥Control Panel¥PowerCfg`
   以下を実行することにより、設定します。
   a. 『**コンピュータの構成**』で、**『Windows の設定』 ➔ 『セキュリティの設定』**の順にクリックし、**レジストリ**を右クリックして、**キーの追加**を選択します。『レジストリ キーの選択』ウィンドウが開きます。
   b. 以下のキーを『**選択されたキー**』ボックスに入力します。
   `USERS¥.DEFAULT¥Control Panel¥PowerCfg`
   c. 『**OK**』をクリックします。『データベース セキュリティ』ウィンドウが開きます。

© Copyright Lenovo 2008, 2012

d. 『**セキュリティ**』タブで、権限を付与する対象の、管理者以外のグループまたはユーザーを選択し (複数可)、そのグループまたはユーザーにフルコントロール権限を割り当てて、『**適用**』をクリックします。

e. 『**詳細設定**』をクリックします。『詳細』ウィンドウが開きます。

f. 『**アクセス許可**』タブでグループまたはユーザーを選択します (複数可)。次に、『**親から継承可能なアクセス許可をこのオブジェクトと子オブジェクトすべてに伝達できるようにし、それらをここで明示的に定義されているものに含める**』オプションを選択し、『**OK**』をクリックします。『オブジェクトの追加』ウィンドウが開きます。

g. 『**継承可能なアクセス許可をすべてのサブキーに伝達する**』オプションを選択して、『**OK**』をクリックします。

8. 『Active Directory ユーザーとコンピュータ』ウィンドウで、以下の 2 つのグループ・ポリシー・オブジェクトが生成されていることを確認します。

- `MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥Windows¥CurrentVersion¥Controls Folder¥PowerCfg`
- `USERS¥.DEFAULT¥Control Panel¥PowerCfg`

注：

1. Windows XP クライアント・コンピューター上の管理者以外のグループまたはユーザーは、以下のレジストリー・サブキーの書き込み権限を持っている必要があります。

- `HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥Windows¥CurrentVersion¥Controls Folder¥PowerCfg`
- `HKEY_ USERS¥.DEFAULT¥Control Panel¥PowerCfg`

2. Windows XP オペレーティング・システムにおける電源設定用の powercfg.exe ユーティリティーの使用法についてさらに詳しくは、次の Web サイトを参照してください。
http://support.microsoft.com/default.aspx/kb/915160

構成が完了すると、Windows XP クライアント・コンピューターの管理者以外のグループまたはユーザーに権限が与えられ、 Power Manager 電源設定のデプロイを適用できるようになります。

付録 B　特記事項

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、レノボ・ジャパンの営業担当員にお尋ねください。本書で Lenovo 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その Lenovo 製品、プログラム、または サービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、Lenovo の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、Lenovo 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

Lenovo は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について 実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

Lenovo (United States), Inc.
1009 Think Place - Building One
Morrisville, NC 27560
U.S.A.
Attention: Lenovo Director of Licensing

Lenovo およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態で提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示 もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が 禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。Lenovo は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書で説明される製品は、誤動作により人的な傷害または死亡を招く可能性のある移植またはその他の生命維持アプリケーションで使用されることを意図していません。本書に記載される情報が、Lenovo 製品仕様または保証に影響を与える、またはこれらを変更することはありません。本書におけるいかなる記述も、Lenovo あるいは第三者の知的所有権に基づく明示または黙示の使用許諾と補償を意味するものではありません。本書に記載されている情報はすべて特定の環境で得られたものであり、例として提示されるものです。他の稼働環境では、結果が異なる場合があります。

Lenovo は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本書において Lenovo 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この Lenovo 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で 決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性がありますが、 その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

商標

以下は、Lenovo Corporation の米国およびその他の国における商標です。

© Copyright Lenovo 2008, 2012

Access Connections
Lenovo
ThinkPad
ThinkVantage

Microsoft、Active Directory、Windows、Windows Media、および Windows Vista は、Microsoft グループの商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。